

被災時住所： 神戸市北区 初産婦
出産日： 4月16日 妊娠週数： 38 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市中央区

病院へ向かう際の交通の手段が確保されるか否かによって精神的にも影響されるので優先的に通行できるようにしてほしい。
(通行除外ステッカーを持っていないケースを考えて)地震のとき私は北区から中央区へと病院までの距離が長かったので交通の便の悪さから精神的負担がかなりありいざ陣痛が始まったらどうしようかとそのことを考えると不安で眠れぬ日がありました。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 1月17日 妊娠週数： 39 週 帝王切開
出産病医院の住所： 神戸市北区

今回水を運ぶのがたいへんだったので高齢者、妊産婦などが暮らしている住居をチェックして援助していただけるととてもたすかると思う。きめこまやかな対応が必要だと思う。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 1月19日 妊娠週数： 37 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

水がでなくなり大きなお腹をかかえて小学校まで水をもらいにいきました。給水車がくるまで雪がちらちら降る中2時間待ちましたがお腹がはってきたのであきらめて帰りました。その夜20日早く陣痛がきました。関係があったのかわかりませんが生まれてからも水がなくてとても不自由でした。友人も子供をかかえて水くみはとても大変だったそうです。近くですぐに水の確保できる場所があればいいと思います。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 1月19日 妊娠週数： 38 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

私の場合は他の医院から1月19日になり〇〇病院で出産いたしましたので病院についてすぐ暖かいということに感激し、お湯がでるとということにびっくりしました。そして医師からの不安でしょうが……というお話がありましたのでここで安心して生めるとほっとしたことを思い出します。特別なことはなにもいらないと思います 災害時に普段通りにできることが特別なことですので、それと医師からの安心できる言葉ではないでしょうか。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 1月19日 妊娠週数： 39 週 帝王切開
出産病医院の住所： 神戸市西区
適切な指導。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 1月20日 妊娠週数： 38 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区
停電や止水に際して分娩に最低限必要な物資や燃料等の確保。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 1月20日 妊娠週数： 39 週 吸引分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

地震語妊婦検診をする日があったんですが病院の方へその旨問い合わせたところ「異常 その他がなければ通常検診はできない」とのことでした。地震等の際出産間近い人は出産予定している病院で出産可能かどうかの連絡を病院側より連絡してもらえればまだ安心できると思う。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 1月21日 妊娠週数： 39 週 帝王切開
出産病医院の住所： 明石市

非常事態でも対応できるライフラインと安心できる対応。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 1月22日 妊娠週数： 41 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

・検診を受けていた病院が被害を受け診療できなくなった場合代わりの病院を紹介して(以前のカルテもまわして)欲しい

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 1月22日 妊娠週数： 38 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

私が住んでいる所は、ライフラインについては何ら支障はなかったのですが、実家はもとより以前住んでいた所は長い間ストップされていて、特に給水は小さな子供や妊婦にとって、長時間並んでまたそれを家まではとても運べないと思うので優先的に配慮して欲しい。出産に際して、他府県でも119に電話をかければ、病院を紹介してくれたり、そちらに入院ともなれば手配をして欲しい。妊婦の講習会などでも非常時の対応を義務づけるのはどうでしょうか。検査データーなど、どこの病院でもわかるように、カルテのコピーなどFAXで送れる様にして欲しい。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 1月22日 妊娠週数： 40 週 吸引分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

そんな事態の時もすぐに他の病院への連絡が取れる様、日頃から緊急対策連絡事項を、本人に伝えておいてほしい!!

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 1月22日 妊娠週数： 39 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市北区

私は大震災の5日後に出産しました。西区の自宅は何の被害も受けず、出産する予定だった病院も近所ですと検診を受けていた病院なのでそこで産むことも可能だったでしょうが、ガス、水道というライフラインに支障があり退院してからの生活を思うと不安で、結局親類を頼って北区に避難しそちらで出産となったのです。第2氏ということもあり早くから子宮が開き予定より1週間早い出産でした。避難してまずすぐにも産ませてくれそうなびょういんを探ることになり、〇〇病院に行きました。状況を話すと、婦長さんが出てこられて

「この病院もガス、水道が使えません。食事面では満足いくようなことができないと思いますが、出産はできます。充分できます。ご安心を。」とおっしゃいました。大変心強いお言葉でした。あの街全体、市民全員が非常事態のなか、出産を間近にひかえ不安で不安でけれどもテレビのニュースから流れる被災地中心地の悲惨さを目にすると自分の持つ不安など口にするのもはばかられ一。そういうなかで婦長さんや、院長先生の落ちついた、穏やかな様子はありがたい。尊敬に値するほどです。患者にとって、医療のスタッフが信頼できるかどうかは、大変重要なことなのだとつくづく思いました。出産し、入院中もずっと余震が続いていました。余震にどうということもなく、にこやかに新生児の世話をして下さった若い看護婦さんたちにも頭がさがる思いでいっぱいです。余震がこわかったとはいえ、私は病院のスタッフの方々を心から信頼できたので「大丈夫」と心の中で安心できました。出産前にたった一度内診をうけただけでしたのに、これ程信頼できたのが不思議であり幸運だと思っています。一番最初にお話をした婦長さんのお言葉が良かったのでしょうか。言葉がけて大切なのですね。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 1月23日 妊娠週数： 38 週 吸引分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

地震後実家（加古川市）に避難し、予定日（2/3）が近づいていたので、もしもの時に備え、近所の産院に頼んだのだが、急に産気づいた人で満床でことわられ、仕方なく自分が産気づいた時は、陣痛をこらえ、3時間かけて（通常は20分で行ける）、通院していた産院へ行きました。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 1月25日 妊娠週数： 41週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

非常事態のときに、妊産婦だけの避難場所や医療機関（かかりつけの医院がダメなとき）があればいいと思う。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 1月26日 妊娠週数： 38週 帝王切開
出産病医院の住所： 姫路市

- ・ ケースワーカーなどの派遣
- ・ おフロ、シャワーなど清潔さをたもてるもの
- ・ 集団生活の中でかぜや病気の感染から身を守る何かの手段があれば、いいと思います。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 1月27日 妊娠週数： 39週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

地震の時水道が止められていて思ったのですが給水の場所や車は昼間にしかこないのにおなかの大きい私はくみに行けないし主人は仕事だしとても困りました。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 1月28日 妊娠週数： 40週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

今回の地震で、ニュースできいたことなんです、病院がつぶれたため、子供だけ病院に入院していて親が先に退院していたそうなんです、いざ子供の退院という時に道が混雑して迎えに行けないと言っていました。そういう時に 救急車が先導するとかしてあげればなあと思いました。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 1月28日 妊娠週数： 39週 帝王切開
出産病医院の住所： 神戸市西区

正常な生活に少しでも早く。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 1月31日 妊娠週数： 39週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

予定日までには3日以上早く、でもおなかがよくはっていかつたため 出産する2日前くらいからずっと夜中病院へ行ってました。まだすぐ生まれないといわれたのもあるけどそのときベットが全くあいていないから泊まってもらうところがないっていわれたのでそういうときの（緊急のまではいかないけど）のベット。あと、助産婦があいそがなかった（忙しそうだったのもあるけど）おなかが痛くて苦しんでいたのに、でもすっごくいい助産婦さんに会えた。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 1月31日 妊娠週数： 40週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

どんな事態になろうとも、妊産婦が安心して出産できる体制を確保するよう医療機関間の通信、援助を希望します。この度の震災でも、バイクで運ばれて帝王切開をした方がいるなどの話をきいてとても感動しました。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 2月 1日 妊娠週数： 37週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

カルテの保護、もしくは母子手帳をみれば、どこの産婦人科に行ってもどんな検査が終わっていて結果はどうかなどわかるようになっていけば安心できると思います。この度カルテがなくなってしまい初めから検査しなおさないといけないという人がおられたので。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 2月 1日 妊娠週数： 42週 吸引分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

地震後、余震が続いて、こわさで何度も目が覚めました。夜がすごく こわくてたまりませんでした。あと心配だったのか、交通渋滞。いろいろな不安があったので、その不安をとりのぞいてくれるような病院であってほしい。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：2月1日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

体が重い分自由に（身軽に）動けずはがゆい思いをした。水がなかなか出なかったので、病院の水が大丈夫かが気になった。やはり、どんな状況の中でも病院に行けば（いれば）安心という状態を作ってほしい。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：2月2日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

- ・ 援助に関してはまず飲み水を十分に確保して欲しいです。
- ・ 医療では、もし、お金がはらえない状態であればまって欲しい事と、どこで治療をしてもらえるのか場所を正確にして欲しい。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：2月3日 妊娠週数：41週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

此度の震災で水の確保が非常に困難な事もあり、出産後、退院まで（前日まで）入浴する事はもちろん、シャワーを浴びる事ができず、洗髪もできず不便を感じた。水の確保を日頃から対策として考えて欲しい。只、そんな中、忙しい合間に看護婦の方々がタオルを熱いお湯でしぼって体をふく様にと何度かして頂いた事がとても嬉しく感謝している。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：2月3日 妊娠週数：36週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

この度の震災で、住んでいる家の被害はなかったのですが、水道とガスがストップして、妊婦の私はすごくつらかったです。お腹が大きいのに水くみはしないといけないうし、清潔にしないといけないうにお風呂も1週間以上入れませんでした。その結果、1カ月も早く生まれてきてしまったのです。その辺の所はもっと何とかできないでしょうか。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：2月4日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市垂水区

地震当日検診の日でした。おなかが張ってすごく心配でした。病院に行きたかったのですが回りの人がこんなときに病院がしているはずがないと言われ電話もできず何日かまちました。でも行ってみれば病院はずっとしていたらしく情報不足でした。もっと病院のことを早く知らせて欲しい。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：2月4日 妊娠週数：41週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

地震の後断水で大変でした。さいわい病院は明石市ですから水が出て診察など普通にできましたがただ食事がインスタントや菓子パンしか手に入らず体重は増えるが栄養的に不安でした。テレビ等みていて思いましたが病院はとても大切なものなので水、電気等自力でできるようにしてほしいです。予定日が近く不安だったのですが医者、看護婦さんによくしてもらい助かりました。こちらからあれがほしいということはいいいにくいので病院の方から聞いてもらいたいと思います。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：2月5日 妊娠週数：37週 自然分娩
出産病医院の住所： 高砂市

出産にたいする不安を持っているうえに非常事態に対する不安が募っているので診察の時に（先生方も忙しいとは思いますが）一言でいいから「地震など大丈夫でしたか」と言ってもらえると少しは気が落ちつく様に思います。それと無理なこともかもしれませんが出張診察（避難所等で）がある様に出張母親学級、等があれば最高だと思います。でも今回の地震である看護婦さんが心配してくれて電話をくれたのがすごく嬉しく思った。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：2月6日 妊娠週数：40週 吸引分娩
出産病医院の住所： 明石市

妊産婦に不安な気持ちをもたせない、病院の姿勢。この度の地震でもそうだったんですが電気、ガス、水は絶対必要だなと思いました。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：2月6日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市北区

私の場合は主人の実家で毎日お風呂に入れたので、妊婦検診に行っても快適に診察できましたが、1週間以上もからだを洗えない人にとっては、かわいそうだと思いますので、何かお風呂に変わる様なものでもいいから設備がととのった所だとよいのですが。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：2月6日 妊娠週数：41週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

予定日が近かったので、ガス、水道、電気がかかっている病院で 大丈夫かが一番きかかりでした。特に水の確保は大切だと思います。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：2月7日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

精神的なケアをして下さるほうが必要だと思います。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：2月7日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

いかなる場合時にも最寄りの病院にでも対応できるように。（システム網があれば便利なのですが）

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：2月7日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

私が出産した時、地震で今まで行っていた病院が被害にあい、急に〇〇病院で出産する事になった方がたくさんおられ、やはり分娩費などですごく不安に思っている方がいました。でも災い私は、家も大丈夫でしたし、病院もずっと一緒だったので、あまりよくわかりません。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：2月8日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

〇〇病院で分娩した時、△△病院から先生、看護婦さんが多く来られてたので、妊婦一人に一人ずつの割合で、めんどろをみて頂けました。それは、不安であった私には、つきっきりでいてくださる事がすごく安心できてよかったです。災害時には、忙しいのは十分分かっていますが、1人1人に安心感をくだされば…と思います。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：2月9日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所： 三田市

- ・医薬品の確保
- ・水の確保及び粉ミルクや新生児（子供たち）の必需品の確保。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：2月10日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

- ・スムーズな受け入れ体制
- ・費用の援助

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：2月11日 妊娠週数：36週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

病院へ行くための交通手段（道路）の確保。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：2月12日 妊娠週数：37週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

緊急の場合、とにかく、どんな方でも受け入れてもらいたい。

被災時住所: 神戸市西区 初産婦
出産日: 2月12日 妊娠週数: 42週 自然分娩
出産病医院の住所: 加古川市

- ・ケガ人、障害者、老人同様の優先的保護。
- ・検診、分娩がどこで受けられかなどの情報の迅速な公開。(今回の地震で当日、翌日合わせて電話の問い合わせに4つの病院(公立3つ個人1つ)に分娩を断れました。理由はそれぞれ1、ベッドがない。2、ガス、水道が使えない 3、手が足りない。4、臨月に転院してくるなんてダメのどれかでした。「今産気づいたらどうしたらいいのでしょうか」という間にも「そんなこと言われても…」と全部に言われ大変不安でした。尚4日後ぐらいにSUNTVで(分娩可)は増えてましたが。

被災時住所: 神戸市西区 初産婦
出産日: 2月13日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市西区

私はこの度の地震で2つの病院を利用したのですがどちらの病院も家から車で20分以内でいけるところなのですが非常事態があると道がこんでしまって2時間ぐらいかかってしまいました。その時早産しそうになったのでどうしたらはやく病院へつけるのでしょうか?

被災時住所: 神戸市西区 初産婦
出産日: 2月13日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市北区

私自身はけがなどはしなかったのですが動きはとれたのですが動きのとれなかった人もいると思うので妊産婦に対し病院の方からもコンタクトをとるようにするとよいのではないのでしょうか。

被災時住所: 神戸市西区 経産婦
出産日: 2月13日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市西区

今回 幸いにして私が出産した〇〇病院に被害がなかったのが不安なく、出産に臨むことが出来て、ラッキーだった。病院を変えざるを得なかった友人の話をきくと、転院先の医療機関(どここの病院へ行って下さいetc)等の連絡を元の病院から指示した方が心強かんじられるのではないのでしょうか?!

被災時住所: 神戸市西区 初産婦
出産日: 2月15日 妊娠週数: 43週 帝王切開
出産病医院の住所: 小野市

まず、正しい情報が必要と思います。ただ、停電、電話も通じないという場合、とてもむづかしいと思いますが、広告ヘリコプターの様な空からの情報…とか何らかの方法で、医療の受けられる病院を知りたいと思います。

被災時住所: 神戸市西区 初産婦
出産日: 2月16日 妊娠週数: 39週 吸引分娩
出産病医院の住所: 神戸市西区

1. 水
 2. 電機
 3. オムツ
 4. ミルク
- 食料のことはテレビなどでよく聞にしたいけどオムツ、ミルクなどは、聞かなかった。

被災時住所: 神戸市西区 初産婦
出産日: 2月17日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

もし、出産しようと思っている病院が、非常事態で機能しなくなった時、次に行く病院をすぐに決められる様に病院間のネットワークが必要。次に行った病院でも、不安がない様にしてほしい。

被災時住所: 神戸市西区 経産婦
出産日: 2月17日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市西区

妊婦には、水くみの援助が必要と思うと共に、地域で声をかけるシステムや、ネットワークと思いますが、難しい事と思います。役所の非常物資に、“毛布”“乾パン”と言われていますが、“ミルク”“紙オムツ”等も必要ではないのでしょうか。

被災時住所: 神戸市西区 初産婦
出産日: 2月18日 妊娠週数: 37週 帝王切開
出産病医院の住所: 神戸市須磨区

- ・粉ミルク・紙おむつ等の赤ちゃん用品の速やかな配布。
- ・健康状態のチェック等細やかな対応。非常事態に必らず神戸市は、乳児に対する福祉があまり整っていないように思う

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 2月19日 妊娠週数： 39週 吸引分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

西区は被害がほとんどなかったのですが今回の地震で余震で不眠それからゆるるたびに血流がとまったような感じで赤ちゃんがビックとしているのがよくわかり不安だった。また瀕尿になってトイレばかりいっていましたが水が流れないし自分で水くみもできないので水のでない間（西区で3日ほど）ずっと便秘でした。避難所等に行かれたかたの苦労はひどいものだったとおもいます。そこで今回のようなことが再びあったら妊婦さんは一時的に優先的に例えば今回なら大阪や西のほうに（加古川等）すぐ避難させてあげてほしいとおもいます。（無理だとはおもいますが）また乳児の紙おむつ、ミルク用の湯とかはどうしていたのかとおもいます。本当に大変だったろうと思いました。やはり被災地からさ最優先に一時的に脱出するしかないと思います。しかし老人や障害をもった人でさえ脱出できなかったのですから。援助としては紙おむつ、ミルク、水とカセットコンロ、おしりふき等をわすれないでと希望するしかないかもしれません。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 2月19日 妊娠週数： 40週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

何かと情緒不安定な妊婦にとって先生の「赤ちゃんは元気ですよ」の一言がとてもうれしく心強かったです。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 2月19日 妊娠週数： 40週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

- ・安心して出産できる所の確保
- ・出産用品の配給
- ・非常のとき妊産婦はどうしたらいいか前もって知る機会をつくってほしい。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 2月19日 妊娠週数： 37週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

今回の地震では、いったいどこの病院が診察しているのかどうか情報がなかなか入手できず不安な何日かを過ごしました。出産日まで少しあったのでよかったのですがもしもいつ産まれても良い状態になっていたら もっと不安だったと思います。

費用の面では 被害の大きさによって援助があればいいと思います。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 2月20日 妊娠週数： 38週 帝王切開
出産病医院の住所： 神戸市西区

今回の地震で健診の時の待ち時間がさらに長くなった。妊産婦がもっと安全な病院へ集中したためであるが、交通が寸断されてしまっている所から来る人は、1日がかかりとなってしまふ。予約制となっているが、全く役に立たない。非常事態であるから、仕方がないが、公立の病院なので医師を派遣するなど、方法はなかったのか。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 2月21日 妊娠週数： 39週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

体が自由がきかないためすばやく安全な場所へ連れて行ってもらえたらよいと思う。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 2月22日 妊娠週数： 41週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

今回の地震はちょうど10ヵ月に入っすぐのことでした。通院していた西市民病院がダメになりバスも電車もストップ。近くの産科医院は断水のためお断り。ここで陣痛がきたらこのままここで産むのか…とそれだけが心配でした。幸い家には被害がありませんでした。（家の中には被害ありましたが…）

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：2月22日 妊娠週数：33週 帝王切開
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

かかりつけの病院での検診がうけられなくなり、転院した場合、それまでの経過のデータが病院から病院へ送られて、検診がスムーズにうけられる様に、病院間の横につながりを密にしてほしいと思います。

(2/13、交通事情が良くなるため、主治医に紹介状をお願いして書いてもらうために、通院したが、かなりしんどかったので…)

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：2月23日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

震災直後は病院も電気以外のライフラインがストップしいつ復旧するのかわからなかったのもその病院で産むことに不安があった。(実家が大阪なので大阪で病院を手配しようと思ったこともある)幸い出産日までにしてすべて復旧したが最悪の場合は他の病院を病院側が手配してくれるなどの配慮がほしいとおもうことができることなら水やガスなどの蓄えを病院内で準備してほしい。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：2月23日 妊娠週数：38週 帝王切開
出産病医院の住所： 三木市

私はおなかのはり止めの薬をもらっていて、地震のあと(余震のため)精神的にはった日がふえました 薬がなくなりもらいにいきたくても電話が繋がらないから(日中)タクシーがよべず時間中に外来に行くのは不可能でした。なくなったという自実がふあんをよびとても心ぼそかったことを覚えていますぐたいてきにこうしてほしいといえませんがこんな時まずどうすればよいかを母親学級等でおしえてもらえたらよいと思います。電話があんなに長くつながらなくなるなんて地震までは考えたこともありませんでした。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：2月25日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

- ・ 出産間近、あるいは様態の悪い妊産婦を収容する医療施設の確保。
- ・ 水と衣類の確保。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：2月25日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

被害にあった地域の妊婦を含む家族もとの生活ができるようになるまでの間、他府県の宿泊施設を無料で提供してもらいたい。金銭的な援助もしてもらえると、かなり、精神的にゆとりができると思うので、お産に対しての心がまえが十分にできると思います。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：2月26日 妊娠週数：38週 帝王切開
出産病医院の住所： 神戸市西区

心身共に最優先でケアしてほしいと思います。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：3月1日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

- ・ 妊産婦などは被害のなかった病院などでもう少し連絡を広めて入院、診察など受け入れると良い。入院 診察できますなどという情報)
- ・ 子供の入浴などもできる場所があればそれだけでも出来た方が良くと思う。(産婦人科で赤ちゃんの入浴のみだけでも)

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：3月1日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

妊産婦だけ専門に受診できる施設が必要。きゅうを要するだけに正しい情報が入手出来るように。(どこの病院ならすぐみもらえるかなど)

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：3月1日 妊娠週数：38週 吸引分娩
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

出産した医院は震災の被害を受けていたけれど、何の不安もなく温かい思いやりもあり無事にむことができました。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 3月 2日 妊娠週数： 38 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市中央区

私のかかっていた病院は当初診察が出来ない状態にもかかわらず電話対応で不安のないようにしていただきましたが友人の病院など被害の少ない地区にもかかわらず連絡がとれないということがありました。又、私も被害は少なかったのですが交通網はなく陸の孤島という状態で医療機関も少ない上に大きな病院は被災地からの患者でパニック状態 予定日も1ヵ月強というときにかかっていた病院の再開めどが思ったより早くお休みの日でも検診しましょうという心づかいをいただいたので安心して出産までを迎えましたが経験者でないかぎり出産は病気というイメージがなく被災していないだけにどう対処して行けばよいのか不安でした。産科同士の横のつながりを多く持っていていただき転医も紹介していただける場所を多く持って欲しいと思いました。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 3月 3日 妊娠週数： 39 週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

いつでも（万が一のとき）出産や帝王切開の準備ができていると安心できると思います。（未熟児の場合も含めて）早産にたいしてできれば本当に安心です。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 3月 3日 妊娠週数： 40 週 自然分娩
出産病医院の住所： 三木市

神戸市内といえども、非常事態にさらされるのが幸いにしてなかったので、その必要性については、ピンきません。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 3月 4日 妊娠週数： 38 週 吸引分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

- ・乳児（子供）のミルク（飲料水、離乳食等）の早期配給。
- ・衣料（紙オムツ等）の配給。
- ・子供の安全の確保（生きていく為に必要な物、場所etc.)

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 3月 5日 妊娠週数： 40 週 吸引分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

マタニティ講座が中止になって、呼吸法がわからないまま、出産しました。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 3月 6日 妊娠週数： 41 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

- ①お風呂に入れることー1週間にいちど実家まで渋滞のなかお風呂に入り帰った。
- ②家族の意識（妊産婦への理解）の向上を促すーみんな自分のことで精一杯で嫁として忙しかったがそれがあたりまえのよだった。実家が「お風呂に入りきて」と電話してきても誰も「行こう」と言わなかった2歳の娘もおりおむつをしていたのに悲しかった。
- ③情報の徹底ー当日主人の実家まで様子を見に行った兵庫区だったのがテレビにも写らずあんなにひどいとは思わずまた主人とはなれるのもこわくて大渋滞のなか到着。すごいショック（街の様子）火事のそばをとおるときも下を向いていた。怖かった。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 3月 6日 妊娠週数： 39 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

今回の地震に際し私自身は何一つ被害をうけなかったので正直なところこの間にはお答えできません。しかしながら新聞等の報道を見る限りよく日本の医療関係の方々がんばっていると思います。一つお願いするならば外国からの援助などをスムーズにとり入れるシステムをつくっていただければより効率よく非常時の医療がすすむのではないのでしょうか？

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 3月 6日 妊娠週数： 39 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

今回の地震では情報が流れていましたが、どこの医療機関が大丈夫かという情報を早く確実に教えてほしい。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 3月 7日 妊娠週数： 32 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市中央区

移動等検診できる場所を歩ける距離で定期的に開いてもらえば安心できる、又、赤ちゃんの沐浴、ミルク、ミルク用の水等もあればよい。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：3月7日 妊娠週数：41週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

今は出産の率が低下している時代なので、出産に対する検診などはすべて援助するべきだと思う。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：3月9日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

地震後は水道が2週間程止まったくらいでそんなに不自由は感じなかったけど自宅が全壊していたら…テレビなどで見てたんですけど下着などの配布がおそかったように思います。私も地震当日ちょうど9ヵ月目にはいったところだったんですけど毎日下着はかえていました。それも何日かに1回洗濯ができたから、もし下着のかえがなかったらやっぱり気になるし精神的にも良くないと思います。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：3月9日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市西区

- ・迅速な診療（定期的）をうけれるように（いち早い）
- ・妊産婦の衣類等の迅速な援助。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：3月10日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

具体的なことは思いつかないが、自分自身の体験で一番困ったことは断水のときの水くみだった。幸い近くの浄水場で24時間給水してくれたが自分で重いポリタンクをもつのは不安があり主人が出勤していないときは実家に帰っていた。（家に貯水していてもバケツでくみだしたりするのは結構疲れた）

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：3月10日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市垂水区

今回の地震で水道が止まったときに水くみをしなくてはならなかったのが妊娠8～9ヵ月でとても重い水を持つことができなく不自由した。また買い物もあまり行けなかった。以上のような点で生活物資の運搬に不自由を感じたのでそのあたりを援助してもらいたい。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：3月11日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市西区

とにかく大きなおなかですので、ご近所の協力がないとなにもできないので、ご近所づき合いのない妊婦さんはたいへんです。なにより今回は、水道がとまったので重たい水を運ぶのがたいへんだと思いました。水道が出なくなると食事内容に偏りが出て生鮮食品も買いにくくなるので、特にビタミン類、鉄分などたいへん心配でした。病人とは違うのですが、ビタミン剤などを緊急的に災害時に配布するなどもいいのではと思います。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：3月12日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市須磨区

妊婦さんが少しでも安心できる環境、または医療体制は当たり前ながら大切かと思えます。私の場合病院に電話してどうしたらよいかたずねたとき、看護婦さんが「大丈夫ですよ」と言われた一言ですごく助かりました。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：3月12日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

今回の地震による直接の被害はなかったが水道が2-3週間使えなくなったために水の確保に追われた。飲料水はまだしも風呂、洗濯、食器洗いに大量の水を使うので日々の水くみは大変であった。妊娠といえども非常事態では重いものをもつなど無理をしがちである。トイレを流すのが大変なのでみずを制限してむくみがでた。その後気をつけたのでことなきをえたが共同生活の場ではそうもいかずもっと悪化していたかもしれない。医療や援助以前に日々の安心できるせいかつを1日も早く取り戻すことが重要と思われる。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：3月12日 妊娠週数：41週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市垂水区

交通のべんが悪かったので通院が困難だった。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 3月12日 妊娠週数： 38 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

お店が閉まっていたり必要な物が手に入りにくかったりすることがあったときのため、赤ちゃんや妊婦にとって必要なものに困ったときどうしたら入手できるか等のことを平素から広報などで知らせておいてほしい。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 3月13日 妊娠週数： 37 週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

ライフラインのストップにより乳児の入浴、ミルク、水などは妨げられることなく与えてほしい。乳幼児だけでも避難施設を確保していただきたい。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 3月13日 妊娠週数： 39 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

一番こまった事は、水不足で、夫が仕事にでて日中不在のため、給水車がきてくれても、長～い間、立ってられないし、水を持ちえることができなかったのも、夜も来てくれたら良かった。又、産まれた赤ちゃんが不安で病院に行きたかったけど、ケガ人を見ると、自分はがまんしようと。思った。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 3月13日 妊娠週数： 37 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市垂水区

- ・生活必需品の確保。
- ・衛生的な生活用品や、環境等、妊産婦自身が精神的に安心できるようなことを希望。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 3月14日 妊娠週数： 39 週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

このたびの震災では水が断たれてしまったので、水の確保に大変だった。水をもらうのに寒い中を長時間並んだり、重い容器を運搬することは妊産婦には不可能に思えた。しかし、だからと言って行政サイドに何かを希望したからと言って、とうていそこまで手が回らないように思える。周囲の人々の心遣いになんとか苦難を乗り越えられたのだと思っている。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 3月15日 妊娠週数： 40 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市垂水区

妊婦は救急車がつかえないと病院でかされたのですがそのところをけんとうしなおしてほしいと妊婦同市の会話でたことがあります。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 3月15日 妊娠週数： 39 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

知人が地震当日に出産し子供にチアノーゼがでたため子供のみが他の病院へ移送されたが混乱の中で一時子供のゆくえがわからなくなったときいた。そういう連絡的なめんでの充実（どの病院が診療できるかなど）が望まれる。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 3月15日 妊娠週数： 40 週 吸引分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

やはり普通の体じゃないのでいろいろ精神的、肉体的に弱い立場なので、体が休まる場所に避難できれば良いのかなと思います。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 3月16日 妊娠週数： 40 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

電話での指導。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 3月17日 妊娠週数： 38 週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

妊娠時は何かと不安なきもちがあり今回の地震も出産前に経験するとは思いませんでした。でも私自身（切迫流産 切迫早産と）約半日の入院で主治医の先生方や助産婦さんも大変いいかたでしたので精神面では大変勇気づけられました。不安なことや疑問に思っていたことを入院していたこともあって直接おききし又、それに対して納得のいくようにスタッフの方がはなしてくれました。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 3月18日 妊娠週数： 40 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

まず妊婦や乳児をかかえたお母さん方はおふろにこまります。私も1/17の時7ヵ月でした。お腹の子のためにも保温と清潔が大事なときです。東灘などにくらべれば家も残っていますが水もガスも半月とまってきました。全体的におふろのかんびができていればよかったのと思います。私自身三木や東条湖までおふろをもらいにいって風邪をひきました。長時間も車にのると負担もかかりました。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 3月21日 妊娠週数： 37 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市垂水区

私は半壊の家でも十分に住める状態だったのでよかったのですがそれでも寒い時期だったので陣痛などがひどくなりました。家をなくされたかたなどは寒くてたいへんだったのではないのでしょうか。妊産婦さんにはあたたかい場所（保護をするところ）を提供していただかないかと思いました。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 3月21日 妊娠週数： 40 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

分娩が進行している場合に 交通がマヒし遮断されているような時 緊急に搬送してくれるようなシステムがほしい。救急車をよぶほどではないが自家用車あるいはその他の交通機関が使用できない時など不安がつと思う。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 3月22日 妊娠週数： 38 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市中央区

やはり精神面でもケアだと思う。(又、分娩時はどのようなところですか)

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 3月22日 妊娠週数： 41 週 鉗子分娩
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

- ・病院どうしの提携（この病院に連絡がつかない場合は××病院の〇〇先生に連絡して下さい。というようなことを知らしめておく）
- ・ラジオなどで機能している病院の名前、住所、電話番号などをながす（これは今回の地震のときして下さったと思いますが）

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 3月22日 妊娠週数： 40 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

電話が使えなかったので、直接診察してもらえるのかわからずにこまった。おなか、とても痛かったので動いてよいのか不安だったので、なにかしらの非常時のコンタクトのシステム（約束などのマニュアル）を決めておいてほしかった。たとえば、特別の窓口をつくる、とか、混雑はするけれど、行ったら一応は対応してもらえる事を事前に伝えておく事。（私よりたいへんな状態の人がいるだろうに…と思うと病院へ行けなかったので）

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 3月23日 妊娠週数： 40 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

非常時とはいえ底冷えのする体育館での生活は妊産婦にはさうとうきついものだと思います。テレビをみて優先的にもっと設備のあるところへ移せたらいいと思いました。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 3月23日 妊娠週数： 40 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

ガスがとまったらミルクが最低でもいるのでお湯をいつでももらえるようにしたい。ふつう通り生活できるよう赤ちゃんのものだけはよいしてほしい。もちろんゆっくり休めるとこも。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 3月24日 妊娠週数： 37 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

今まで診てもらっていた病院等が非常事態のため診療が出来なくなった場合は別の病医院を紹介してほしい。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 3月24日 妊娠週数： 39 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

臨月に入っている妊産婦さんが安心して
すごせる場所と、やはり水を確保して頂き
たい（ちょっと無理でぜいたくかも知れま
せんが）私も2週間程水道が出なくてスト
レスもたまりましたし体が不潔になるので
イヤでした。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 3月28日 妊娠週数： 39 週 帝王切開
出産病医院の住所： 神戸市西区

- ・逆児の為、体操を、するように言われて
いたが、なかなか時間がとれず、毎週、
見てもらう事になった。非常時には、医
療費の割引や集団検診、目に見える災害
だけではなく、見えない部分に対しての
ケアに、もっと、目くばりをして頂けれ
ば…と思います。
- ・我家は、被害がなかった(断水は1月末ま
で)ので、なんの配給等もなかった。給
水車は、やっと、土曜日のPM7に来まし
た。気持ちが張っていたので、何も体に
不調はなかったが、不安になった方も多
いはず、婦人科等から、Telの1本もあれ
ば気持ちにゆとりもできるのでは…

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 3月29日 妊娠週数： 41 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

妊婦及び赤ちゃんが清潔でいられるよう
にありたいです。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 3月29日 妊娠週数： 39 週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

私が特にこまったことは水がでないとい
うことでやっぱり水、電気、ガス等をちゃ
んとしているところへ避難させてあげる
ということ。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 3月29日 妊娠週数： 39 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

今回のように病院なども大きく被害をう
けたときの受け入れさきがわからず、動き
がとれない。交通機かんのこともあるの
で、近くの施設（学校、公民館等）で近く
に住むお医者さんで非常の場合みていただ
ける体せいをつくってほしい。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 3月29日 妊娠週数： 41 週 帝王切開
出産病医院の住所： 神戸市兵庫区

水がたらなくて困ったとか、電気がこな
くて手術できなかったとかテレビや新聞な
どで知って医療施設はもっと設備を整えて
欲しいと思った。また耐震や耐火にも気を
使って欲しい。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 3月29日 妊娠週数： 41 週 帝王切開
出産病医院の住所： 神戸市西区

その時の事故の状況により囲りにたくさ
んの静心的にささえてくれる協力もほしい
又は無料で医療サービスなどがあればいい
と思います。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 3月30日 妊娠週数： 40 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市兵庫区

いざというときの情報が何もないため動
きがとれず交通手段もなく電話も通じない
のでとても不安でした。近くの病院でもう
けられるのかもわからず大きな病院はとて
も混雑していたとのことでもう少し情報が
早くラジオやテレビでも教えてくれたら
と思いました。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日： 3月30日 妊娠週数： 41 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

- ・精神面でのケアー
- ・24時間救急体制など。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 3月30日 妊娠週数： 36 週 帝王切開
出産病医院の住所： 明石市

- ・予約日以外の日であっても非常時の場合
は希望があれば検診をしてほしい。
- ・食物の確保（ベビー用品も含む）・妊婦
さんの安心して休める場所。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日： 4月1日 妊娠週数： 38 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

- ・出産分娩時の安全の確保。
- ・検診や出産を予定していた医院が診療不
能になった場合のサポート体制を整えて
ほしい（別の医院を紹介してくれる等）

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：4月1日 妊娠週数：41週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

ただでさえ不安定な状態の時ですのでその様な事があればお腹の赤ちゃんも大丈夫だろうかと不安になります。そんな時にレントゲン車みたいに車に検診用にエコーなど備えたものがあれば どこにでも行って診察できるし大丈夫だという事が確認できれば、気持ちも落ちつくと思います。それに救急の時はどこの婦人科でもうけいれてくださることができたら安心ですが。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：4月2日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所： 小野市

いつでも診察出来る用な状態であってほしいと思う。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：4月4日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

妊産婦には、衛生的なところで生活できるよう特別扱いをしても良いと思う。各地区の消防署などで妊産婦を常にはあくしていると思う。一人の身体ではないということで、今回の地震の時も動く事が出来なかった。2階に寝ていたけれど階段でこけたらどうしようとか思うとじっとふとんの中に入っていた。とっさに逃げる事が出来ない。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：4月5日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

緊急時のライフラインの確保だけは万全にしてほしい。特に財政にゆとりのあるはずの神戸市があたふたして全く期待できないのが歯がゆかった。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：4月5日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

妊娠中大災害にあうと体調をくずしたりしやすいのですぐにいつもどおりの検査などが受けられるようにしてほしい。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：4月5日 妊娠週数：37週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

地震前、私は〇〇病院で検診を受けたり流産くりかえしの為、入院させてもらってましたが地震後、通院できなくなり△△病院へ行きましたが、先生には「この病院へ急に来院されてもお産は無理だとか、以前のデータがないのでむづかしいなどと言われかなり落ち込んだ。グチャグチャといわれ精神的にまいった。結局〇〇病院でのカルテを持参したが、たまたま主人が医療関係の仕事なので〇〇病院までカルテをとりに行ってくれましたが、もし足がなければ妊婦が西区からポーアイまでいけたでしょうか。そのような場合せめてファクスを流してほしかったです。〇〇病院の先生は即快くカルテを書いて下さったようですが、△△病院の先生の対応がとても冷たく思いました。「この病院へ急に来られてもベット数が足りない」などいわれたのはショックでした。それで私は「私はどうしたらいいんですか?」といいましたが、ただたんに診察するだけでなく地震でおなかのbabyはどうでした?などやさしい言葉も欲しいものです。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：4月5日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市兵庫区

- ・日頃から非常事態が起きた場合の病院への連絡方法や近くの病院などへの診察方法などをよく話し合っておく事が必要ではないでしょうか?また、病院にすぐに来れない場合などの対処の方法(処置方法)等の指導も必要だと思います。
- ・非常事態に対して診察等を受けた場合、費用は原則として無料とするべきではないでしょうか?

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：4月6日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

この度の地震でもそのショックで流産、早産なされた方や急に陣痛のはじまった方が大変多くいると聞いております。病院は人が人その他の患者さんが多くつめかけて大変だとは思いますが母体と赤ちゃんの命を守るためにも最優先に急を要する妊婦さんを診察して頂きたいと思っております。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：4月6日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市西区

今回の地震で全壊などで病院がつかえなくなった為被害の少なかった地域の病院が混雑し入院用の部屋がいっぱいでした。空いたら入れてもらえる状態でした。今後は救急時の入院用の部屋の確保もお願いできたらいいと思います。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：4月8日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市西区

地震から1週間ほどたったときに助産婦さん（出産予定の病院）から電話をいただいたことがとても嬉しかったです。とても落ち着きました。非常事態の時は誰しもが不安にかられます。そんなとき多少日にちがたっても妊婦であれば検診を受けていた医院などから連絡があれば気分が落ち着くのではないのでしょうか。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：4月9日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市西区

精神的に不安定となると思いますので、リラックスできる様アドバイザー等が必用と思います。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：4月10日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

地震の時はかなり寒い時期だったので寒さもしくはあつさなどはかなりこたえるし清潔にしないといけないこともあるので（ぼうこう炎など）それに横になれることろなど。食事のバランス。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：4月11日 妊娠週数：38週 吸引分娩
出産病医院の住所：明石市

出来るだけ静かな「環境」ミルク、オムツの援助。衛生面、精神的な補助。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：4月12日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

なに事が起こってもすばやく対応し、かつ通院している病院で出来る限りお産出来るように、病院がつぶれても、その医師看護婦助産婦がどこかにつどって出産に立ち会うことが出来るようにして欲しい。そのスタッフをしんじて信頼して、通院しているということを忘れないで自分の所がだめだから他へまわすことのないようにして欲しい。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：4月13日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市西区

今回自分自身でも体験したことです。地震があつて数日後27週のときに突然出血しすぐに病院に電話したのですが全く通じませんでした。仕事の都合上主人もいなかつたのでとても不安になりました。電話が早く復旧すれば適切なアドバイスもうけたと思います。結局近所の同じ経験のある人の話を聞いて安静に寝てました。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：4月15日 妊娠週数：40週 帝王切開
出産病医院の住所：明石市

- ・安全、清潔な場所、清潔な器具。
- ・信頼できるお医者さん 看護婦さんがいてくれる。

被災時住所： 神戸市西区 経産婦
出産日：4月15日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

そのような非常事態でも、不安のないような医療をお願いしたいです。

被災時住所： 神戸市西区 初産婦
出産日：4月16日 妊娠週数：39週 吸引分娩
出産病医院の住所：神戸市西区

- ・災害時、通院していた病医院に連絡がつかなかった場合、身体に異常があつた時、どう対処（どこへ行けばよいのか）病医院内であらかじめ決めて、診療の際に説明してもらえたらと思う。（災害発生後、早い時期での妊（産）婦の状況把握と対処）

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：1月17日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市中央区
水や消毒などの衛生面をはやく通常のよう
うにしてほしい（入院中）

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：1月17日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市
地震当日に出産して、入院中、母子とも
に入浴もできず、食事もお弁当かおにぎり
ぐらいしかあたらなかったのに、通常と同
じ出産費用を請求されたこと。（しかも通
常のときより1日早く退院して）

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：1月18日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市垂水区
生まれたばかりの新生児の安全性だけは
絶対に守ってあげて下さい。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：1月18日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市須磨区
同室の初産の方は 震災当日陣発・出血
したが引越して来たばかりでまだ妊婦検診
を受けていなかったため責任がもてないと
断られたと聞いた。私は主治医が当日〇〇
病院に頼みに行っていたため 安心して
出産出来たが、他にも断られたりつ
ぶれていたりで3軒目で出産した話も聞
く。自宅に親族が避難してきたため新聞を
読む時間も無かったが、震災時 受け入れ
可能な産婦人科情報とか、産婦人科医療班
の避難所訪問などは行なわれたのだろう
か。また〇〇HpのDr.やNr.は他院からの受
け入れが多いため皆疲れて顔色が悪かつ
た。非常時なのだから診療不能な他院のDr.
やNr.の手は借りられないのだろうか。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：1月18日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市
とにかく安心できるように、余分な心配
をしなくてもよいようにケアしてほしい。
非常事態でなくても不安なものですから。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：1月19日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市須磨区
予定日が近くびょういんが無事なのかど
こで出産すればいいのかとても不安だった
ときに〇〇産婦人科の方がで電話を下さつ
てとても安心できたので病院側から連絡が
可能なら連絡をつけるとかこの病院が受
け入れ可能かなどをはやくわかるようにし
てほしい。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：1月20日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市須磨区
ミルクや紙おむつなどを優先して確保で
きるようにしてほしい。出産後などはとく
に感情的に不安定になるので、精神的な面
でのケアもなるべく考えてほしい。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：1月22日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市北区
安全な場所への移送。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：1月23日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区
別の病院に変わる場合、血液検査etcを再
度やり直しました。FAXなどで前の病院か
らとり寄せるなどできないでしょうか？私
の場合10カ月で、お腹も大きく長い間待っ
て検査してとても疲れた記憶があります。
それと交通が不便になり、車も大渋滞しま
した。そういうときに産気づいた場合、救
急車が使えたら…とふと思いました。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：1月24日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市須磨区
今回入院時交通渋滞にて（普通30分とい
けるところが1時間30分）子宮口全開での
入院となったため救急車等の緊急自動車が
活用できるようにならないものだろうか？

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日： 1月24日 妊娠週数： 38週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

特に、10カ月にはいって、いつでもおかしくない時に、災害にあつて、以前かかっていた病院がだめになった時の不安がすごく強かった。さいわい、きっちと、次の病院に、しょうかいしてくれていたで、よかったけれど、それでも不安でした。心のケアが1番大切だと思います。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日： 1月25日 妊娠週数： 40週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市兵庫区

災害時の水の確保。物資なので仕方ないけど期限切れのパンを出されたのにはびっくりした。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日： 1月26日 妊娠週数： 39週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

湯、水等は必ず使えるようにしてほしい。妊産婦に異常が起きた場合すぐに対応できるようにしておいてほしい。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日： 1月26日 妊娠週数： 40週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

安心して出産できる環境と衛生的な面。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日： 1月26日 妊娠週数： 38週 自然分娩
出産病医院の住所： 三木市

敏速な運搬。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日： 1月26日 妊娠週数： 39週 帝王切開
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

このような災害の時、妊産婦は特に精神的にショックが大きいと思いますので、精神的なケアが出来るようなシステムがあれば、安心すると思います。あと、妊産婦用に、病院を知らせてくれるシステムも必要だと思います。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日： 1月26日 妊娠週数： 39週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市垂水区

個人病院だったので水道ガスの供給がともおくれた。給水車と病院の前まで入れる等の優先策はとれなかったのだろうか…

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日： 1月27日 妊娠週数： 29週 吸引分娩
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

連絡手段のまひ交通状況のまひなどにより車のない私にとって不安だらけでした。出産間近にしての地震でお腹は痛くなり病院には連絡がつかず他の病院も手いっばいでうけていただけなかったためになんとかかかっていた病院に連絡をとりやっとの思いで1ヵ月早く産むことができました。しかし赤ちゃんが呼吸困難となり〇〇病院に入院、その後も原因不明の発達のおくれがあり1年でやっと安心できる状況になりました。やはり〇〇病院の先生のお話しでは何かの（地震による）影響は否定できないだろうとのことでした。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日： 1月27日 妊娠週数： 41週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

電気、水道、ガス等、非常時にそなえて、対策など考えてほしい。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：1月28日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

震災前は〇〇病院にかかっていて震災後〇〇病院でのお産が出来るのか不安になりすぐ電話したところ“一応産めますがある程度不自由はおかけすることになりますし検診はいっさいおこなわずお産の時に来てもらうこととなります。どうしても体の調子が気になるようならば近くの産婦人科で検診のみうけられてもいいですよ”と看護婦さんにいわれ少し逃げ腰の態度にとても不安を感じここではもう産めないと思いました 第1子もそこで産んでおり第2子も是非とおもっていたのに残念でした。すぐ近くで大きな病院を探したところ比較的被害の少なかった△△病院があることを知り迷わず外来で1/23に受けその週のうちにお産になり早く決断してよかったと思えました。産後看護婦さんに聞くと外来を1度もうけずにきて産めずたら一回しだということを知りびっくり致しました。やはりこういう場合はなるべく受け入れる体制をつくっていただきたいと思えました それと新たにかかったということで血液検査もまたされてしまい不安な時期で栄養もとれないなか又血液をとられることがつらかったです。金額も高くもし全焼でもしていてもない状態の妊婦さんなら大変なことだと思えました。やはり非常時にはカルテの病院から病院への転送が母子手帳に記入するなど大事なことはカルテ同様にかけるようにしておいてほしいと思えました。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：1月31日 妊娠週数：41週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

出産の前に地震があり水が断水。大切なのはわかるけど赤ちゃんが初めてつかる産湯。まだ頭に血液がついたままとかは少しかわいそう。(看護婦さんの手抜きかもしれないけど)非常事態こそ水道とかは十分にしよう出来るようにしてほしい。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：2月1日 妊娠週数：40週 吸引分娩
出産病医院の住所： 明石市

- ・下着類の配布
- ・入浴
- ・腹部の保温ができるもの

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：2月1日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

今回の地震で当日お腹の強い張り痛みがありかかりつけの病院に電話しましたが不通で近くの病院に何件か電話したところ『うちでは受け入れられません』等の返事がいくつもありとても不安なときを過ごしました。幸い陣痛ではなく痛みもおさまったのでよかったのですがあのままうまれていたらと思うと、今でもゾッとします。こういう非常時にはどこでも受け入れてもらえる態勢がもっととのってほしいと思えました。特に出産は待たないななので。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：2月1日 妊娠週数：39週 帝王切開
出産病医院の住所： 神戸市垂水区

検診が受けられるようにしてほしい。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：2月1日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

- ・受け入れてもらえる医療機関の情報と、交通の確保
- ・清潔なタオル等、衣料と水・ミルクなどの配給

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：2月3日 妊娠週数：37週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市垂水区

やはり通常の時よりも精神的に敏感になっているので看護婦の方のきずかいでかなりすくわれました。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：2月4日 妊娠週数：40週
出産病医院の住所： 神戸市垂水区

私も〇〇病院でお世話になる前自分で何件か電話で問い合わせをしたのですが結局かかっていた病院が違うという理由で断われました。一時はどうなるかとおもいましたが……もう少し親切な対応の仕方はなかったのかと今でも思います。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：2月4日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市西区

災害の大きかった時、店等、全て営業していないので 赤ちゃんの為にミルク、オムツは配給してほしい。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：2月6日 妊娠週数：49週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

医薬品が足らなくならないように非常事態がいつまで続くかわからないためにストックしておかなければならないので切迫のかたも本来なら点滴をしているところを最悪の事態までと処置を受けられない姿も見たのでとても心配でした。今回のことをきっかけに十分な医薬品の援助が早くスムーズに受けられるパイプラインなどを期待します。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：2月6日 妊娠週数：32週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市須磨区

- ・非常事態になっても、必ず電気、水道、ガスのライフラインが使える設備が整っている医院の情報が欲しい。
- ・医療費の免除も考えて欲しい。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：2月7日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

特に妊産婦さんは清潔にしておかないといけないので家庭のお風呂が使えなくなったときのお風呂やの確保やそれが困難な時の清浄綿の無料配布等……（自分が体験したので）もし通常通院している産婦人科が行けなくなったための別の産婦人科の確保。食事に対しても地震のときスーパーやコンビニで買おうとしてもカロリー制限（特に塩分）のある妊産婦にはむかないものしかおいてなかったので災害時の為の簡単に調理できてしかもカロリーを考えた商品を開発して欲しいです。（特に産婦人科の先生の協力をえて）

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：2月7日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

安心して出産できる設備・対応。

被災時住所： 神戸市垂水区
出産日：2月8日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市須磨区

今回の災害で感じたことは妊婦など緊急に状態が変わった時にまずどこに知らせればよいのか？そしてどこにいけばみもらえるのかまったくわかりませんでした。その不安があると避難するのにできなかったと思います。2・3日後テレビにより妊婦のみていただける病院が紹介されましたが交通もマヒしており結局家でじっとするだけでした。大きな情報であるテレビ、ラジオに期待します。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：2月8日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市西区

今まで診察を受けていなかった病院でも安心して受診、出産ができるようにしてほしい。。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：2月8日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市須磨区

子供がアレルギー体質なので、アレルギー用のミルク、除去食の確保が早急に出来るような体制づくりを望む。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：2月8日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市須磨区

体調の変化に対する 早急で適切な処置はもちろん、精神的な面に対するケアが最も必要と思います。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：2月8日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市垂水区

衣食はたりても不安は消せない。温かい気持ちで温かいオフロで身体まであたためてあげたい。不潔になるのが一番怖かった。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：2月9日 妊娠週数：34週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市西区

すぐに検診してほしい。どういう交通手段でどの病院へ行けばいいのかすみやかにしたい。

被災時住所: 神戸市垂水区 経産婦
出産日: 2月9日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市西区

風呂場の確保……妊娠中なのでできるだけ他人のかたと一緒に風呂には入りたくない。特に産後1ヵ月は…

被災時住所: 神戸市垂水区 初産婦
出産日: 2月9日 妊娠週数: 41週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市垂水区

非常事態後、すぐに検診を受けさせてもらえなく、少し不安があった。

被災時住所: 神戸市垂水区 経産婦
出産日: 2月9日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市須磨区

1、診療を行っているか否かの情報の提供
診療できない場合の他病院の紹介に対する情報の提供

2、分娩に際し
医療機関と自宅との交通状況による医師のアドバイス

ex)私の場合、車で1hかかったため、Drから事前に入院するようアドバイスを受け、大変安心した。災害後、ライフラインの復旧も未だということもあったが、交通事情も最悪で迅速に来院できないという不安が強かった。

3、ライフラインが全て回復するまでのケア

- ・入浴できない、洗濯できないことから生じる問題→妊婦特有の帯下、汗あき→生理用ナプキンウェットティシュの利用
- ・妊婦の被災状況の把握及び、セルフケアの確保(保温・衣類・洗面など)

被災時住所: 神戸市垂水区 経産婦
出産日: 2月10日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市垂水区

どこの病院や場所で出産ができるか検診をしてくれるかがすぐにわかると思う。ライフラインがストップしたときには水くみが不可能なのでそれを手助けしてもらえれば助かると思う

被災時住所: 神戸市垂水区 初産婦
出産日: 2月10日 妊娠週数: 42週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市西区

この震災で長い間お風呂には入れなかったので各区に1ヵ所でも妊婦、新生児に対して優先的にお風呂に入れる施設をつくってほしい。

被災時住所: 神戸市垂水区 経産婦
出産日: 2月10日 妊娠週数: 39週 帝王切開
出産病医院の住所: 神戸市北区

どんな状況になっても安心して出産ができる体制。119番とは別の特に妊婦専用のダイヤルがあればいいと思う。

私の場合は帝王切開という出産の形がきまっていたので予定していた病院が被害にあい手術が出来ないと知ったときは不安と混乱で精神的にかなりつらかった。さいわい良い病院にめぐりあえたがそれでも万が一破水してしまったときのことなど考えると落ち着きませんでした。(道路がどこも大渋滞で)

被災時住所: 神戸市垂水区 経産婦
出産日: 2月10日 妊娠週数: 38週 吸引分娩
出産病医院の住所: 神戸市須磨区

- ・災害時にどこの病院がお産が可能なのかをディアルタイムで知らせて欲しい。
- ・緊急車輛の、交通路の確保。

被災時住所: 神戸市垂水区 初産婦
出産日: 2月11日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 龍野市

- ・妊産婦に対する言葉かけ
- ・いつでも受け入れてもらえる体制

被災時住所: 神戸市垂水区 経産婦
出産日: 2月12日 妊娠週数: 37週 自然分娩
出産病医院の住所: 多紀郡

出産できる状況をいち早く確保してほしい。救急車内でも最低限の設備を常備しておいてほしい。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：2月13日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市西区

この度の地震で先のことが全く分からず、又、出産間近の妊婦にとってびょういんと連絡が取れないということは大変不安でした。問い合わせたときの対応はとても悪く残念に思います。予想していない事態でしたがこのような災害が起きたときどここの病院にかかっているかにかかわらずどここの病院へ行ったら良いか紹介していただくシステムがあればと思います。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：2月14日 妊娠週数：39週 吸引分娩
出産病医院の住所：神戸市西区

できるだけ早く検診をして、お腹の赤ちゃんには何ら異常がない等の診断をして安心させてほしいと思う。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：2月15日 妊娠週数：37週 吸引分娩
出産病医院の住所：神戸市垂水区

水道、ガスが使えない中、病院まで徒歩圏であることと病院側の「いつでもお産できます」の一言がとても心強かったです。
(地震当時妊娠9カ月でしたので)

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：2月16日 妊娠週数：39週 吸引分娩
出産病医院の住所：神戸市須磨区

分娩中に地震が来た時に分娩台から落ちる事もあると思うので、体にベルトがつけられるようにするか、台を低くするなどしてほしい。今まで母乳が出ていても災害で不安になって母乳が出なくなった時店もなくて大人の食べ物は、何日かすればくばられるが、ミルクがなくてこまった人もいます。病院で、粉ミルクと水を販売してもらえれば助かると思います。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：2月16日 妊娠週数：27週 帝王切開
出産病医院の住所：神戸市北区

今回の事で私には安全な所があり前とかわらず診察を受けれましたが そうでない妊婦さんの事を思うと人ごとではありませんでした。いつ何がおこっても不思議でない体ですので避難所には必ず先生にいてもらいたいです。またできればかかりつけの医院で責任もっててもらえれば安心です。これからも大変でしょうが妊婦にとっては病院、先生は何よりも必要ですがんばってください。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：2月16日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所：豊岡市

非常事態が起きたら、“この病院へ”というような、病院どうしの連携をつくってほしい。(診てもらっている病院が、つぶれた場合etcの…)

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：2月17日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市垂水区

今回は冬であったため避難所にいるしかなかった妊婦はさぞ寒かっただろうと思ひ希望としては早急にしかるべき所に保護されたらと思った。(夏は逆 暖房と栄養のとれる場所に)避難所に妊婦検診が開設されていたニュースをみてとても安心したので今後もあってほしいと思う。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：2月17日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市垂水区

非常事態のためやむをえず転院しなければならなくなった時、それまでの妊婦検診の結果等が、転院先の病院にすぐに送っていただけるような病院間ネットワークのようなものがあれば、助かると思います。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：2月17日 妊娠週数：41週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市須磨区

すぐに受け入れてくれる場所を作っていたきたいですな。ただでさえ精神的にまいっている時にどこにも行き場がないと もっとひどくなるし、そばにお医者様がいてくれるだけでも、すこしでもリラックスできるのではないのでしょうか…

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：2月19日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市須磨区

いつもよりていねいに、こまかく話をたくさんしてほしい。診察していただければよいのではないのでしょうか。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：2月20日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：赤穂市

やはり、今回、水・ガス・電気・食料が不足し、自宅でも、とても、妊娠している身にはつらかったですし、不安でした。入院しても十分なことがしていただけるのかとも考え、体調も精神的にも、一時、まいてしまいました。寒さもつらかったです。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：2月21日 妊娠週数：37週 帝王切開
出産病医院の住所：明石市

・救急の時の医療機関をもっと明確に記載してほしい。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：2月21日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市須磨区

この度の地震で通っていた病院がダメになり、もう後少しで（1カ月半後）予定日だったので結構あせったし他の病院はうけ入れてくれるのかすごく不安でした。テレビ・新聞のニュースでその様な病院の案内が比較的早く出たのはうれしかったです。これからも一早いその様なニュースを望んでおります。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：2月22日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：神崎郡

紙おむつがとても必要だと思えます。友人は長田に住んでいて、全壊してしまい子供（当時3カ月）をつれて学校で生活してたんですが、おむつがなく、布だと、洗えないし、大変なので紙おむつをしましたがたりなくて、紙おむつを洗って、かわかして使っていたそうです。あと、粉ミルクの赤ちゃんの場合、お湯がなくて、水で粉ミルクを作ってあげていたそうです。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：2月22日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

病院で一度、診察をしてもらおうかと思ったのですが、交通事情が悪いと聞いてまた、ニュース等で病院の混雑ぶりを見てあきらめました。二人目の出産ということもあったので お腹のなかで よく動いていたので まあだいじょうぶだろうという気がありました。これが初めての出産だったら、もっと神経質に考えていただろうと思います。こんな時に 自分の住んでいる町の（全員が）公的施設で診察が受けられることを希望します。（ニュースでは一部の避難所だけ診察を受けられていました。）

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：2月22日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市垂水区

地震後、診察できるかどうか、分娩ができるかどうかの連絡が無かったので、なんらかの通知をして欲しかったです。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：2月23日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市垂水区
スピーディーな対応。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：2月23日 妊娠週数：40週 吸引分娩
出産病医院の住所：神戸市垂水区

私が出産した病院（〇〇病院）は普段は予約制の病院だったのに、地震の為他の予定していた病院に断られた私を予約なしでも受け客れて下さった。そして大変ていねいに診察もして頂き本当に感謝している。妊婦に安心を与える心配りは素晴らしいと思った。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：2月24日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市中央区

〇〇病院まで遠いので近くをお願いしたらどうかと、回りの人達に言われ近くの病院に問合せでも“新しい方はお断りしています”という返事、却って精神的に不安になりました。仕方ないことかもしれませんが。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：2月24日 妊娠週数：40週
出産病医院の住所：加古川市

ライフラインが断たれた時に 水、オムツ、ミルク肌着を確実に配布できるようにしてほしい。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：2月25日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

私の場合は肉親の協力で、特に大きな不安もなく過ごせましたが、実家や肉親が遠方で、特に、上の子供さんがいる方には、何らかの形で、人手がいるのでは、ないかと思えます。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：2月26日 妊娠週数：38週 吸引分娩
出産病医院の住所：神戸市垂水区

私が地震の2日後に検診に行った時のことです。受け付けに他の病院で受診していた妊婦さんから電話がかかって自分の受診していた病院が地震でなくなったのか病院に行けないらしくその病院で産ませて欲しいとの電話だったらしいです。けれど受け付けでは『水がなく不衛生で手術もできないので今まで受診した妊婦さん以外のお産は出来ません』とのことでした。たしかに病院はパニックでトイレも使えない状況だったしけが人ばかりだったのですがもうお産の始まっている妊婦さんがあのように断られるのは同じ妊婦としてつらかったです。どのような災害時でも今まで受診しなくても誰でもどの病院でもお産できるシステムがあればと思います。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：2月26日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市中央区

とにかく、精神的にすこしでも落ち着ける場所を確保してほしい。産婦人科の先生や看護婦さんのはげましの言葉にどれほど心強く思ったことか…

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：2月27日 妊娠週数：38週 帝王切開
出産病医院の住所：神戸市中央区

災害をまぬがれた他府県の病院にスムーズにバトンタッチ出来るようなシステムがあればと思います。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：2月27日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市垂水区

妊婦さんでも気がねせず入れるお風呂の設備をちゃんとしてほしい。地震のときは食べ物にすごく困った。栄養のあるものを用意しとかなくてはならないと思います。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：2月28日 妊娠週数：41週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市北区

切迫早産のおそれがあるので（上位破水していた）安静といわれていたときで1週間後の検診の日に道路がこんでいけそうにないので病院へ電話して指示をあおぐと近くの病院でみてもらってくださいといわれたので近くの病院に2件電話したが、水がでないとか 手が足りないとかでことわられた。結局実家の近くの〇〇病院でみていただけたが、もっと地域の病院がその地域の人に対してやさしく対応してもらいたい。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：2月28日 妊娠週数：32週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

非常事態ということで病院としての機能が動いているのか、各病院の情報をテレビ等でながし自分の通っている病院を確認したい。又、予定日近い人に対して個別になんらかの連絡を病院側からとることはできないものか？

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：2月28日 妊娠週数：27週 帝王切開
出産病医院の住所：神戸市須磨区

今回の地震で、今までの生活がいかにものりものかよくわかりました。私自身、自分では地震の影響などなにも体にうけていないと思っていたにもかかわらず、3カ月も早くうまれてしまいました。精神面のケアが、いかに大切か、今回の出産でつくづく思いました。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：3月1日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市須磨区

お風呂など入れなくなると体が不潔になりやすいので妊産婦、乳児など優先でそのような施設の提供を。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：3月1日 妊娠週数：39週 帝王切開
出産病医院の住所： 神戸市垂水区

住居のエレベーターが使えなくなり上階の人は苦勞していた。水運び等が1人ではできないので周りの人に迷惑をかけた。そのへんの援助があれば、お風呂やさんも超長時間並ばなければならぬので行けなかった。専用のものがあれば。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：3月1日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所： 高砂市

今回の地震で一番感じたのが、交通のマヒです。もしお腹の赤ちゃんが何かの異常があった場合 病院までの交通マヒを心配しました。私の場合、実家が病院に近く地震の被害もほとんどなく普通の生活が出来ました。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：3月2日 妊娠週数：41週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

検診の場所の公表もしくは出張診療所での検診をしてもらい無料にする。水、食料、ふるなどの確保や重い荷物の持ち運びをしてほしい。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：3月2日 妊娠週数：38週 吸引分娩
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

妊産婦は特に不安になりやすいと思うので、ケガなどをしていなくても安心できるように落ちつける場所などが必要だと思います。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：3月3日 妊娠週数：38週 吸引分娩
出産病医院の住所： 神戸市垂水区

せめて病院だけは水道、電気、ガスがとまらないようにしてほしい。そうすれば安心して出産をむかえられると思う。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：3月3日 妊娠週数：38週 帝王切開
出産病医院の住所： 加古川市

食事の確保と、休める場所と、お医者さまの3つは必ず保障して頂きたいのです。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：3月4日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

被害状況をきちんと伝えてほしい。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：3月5日 妊娠週数：36週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

当日と次の日は急患の人のみで一般は3日目からでした。しかし、妊産婦はやはり赤ちゃんの事が心配でした。詳しい検査をしてほしいとは思いません。しかし、大丈夫かどうかの検診ぐらいは即でもよかったのではないのでしょうか。これはやはり私の身勝手でしょうか。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：3月6日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市垂水区

今度の震災で水道やガスが長く止まってしまう、水くみができなかつたりお風呂もお風呂やさんの長い行列に冬の寒い時に並べなくて不自由な思いをしました。妊婦のために何らかの対応があればと感じていました 地震の後すぐに実家に世話になったのでよかったのですが実家の遠い人などは寒い避難所で心細い思いをしたらろうと思います。妊婦の受け入れ施設などがあれば……と思いました。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：3月6日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

通院していた病院が壊れて、全く連絡がとれず、その上、血液検査の結果待ちの状態だったのに、結果もわからずじまい。妊娠33週目でのことだったので、どこで産めば良いのか、受け入れてくれる病院はどこだろうかと、心配なことばかりでした。以上のことから私が思ったのは、臨時的妊婦検診を各区や各地域などで、やってほしいということです。長田区では臨時的妊婦検診が行なわれた様ですが、地震のすぐ後の交通の不便さや長田区の状況では、そこへはとても行けなかったのです。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日： 3月7日 妊娠週数： 39週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

妊娠9カ月の体では、断水の為 給水所まで歩き、寒い中1時間近く待ち、ペットボトル5～6本の水を運ぶのがやっとでした。いつまで断水が続くのか、重たいものを持って、お腹は大丈夫かと不安を感じました。こんな時妊婦にも援助してくれる人が気軽に頼めることができればと思いました。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日： 3月8日 妊娠週数： 39週 帝王切開
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

医療や援助という面では あまりわからないのですが、私にとっては助産婦さんの「何があっても、家に行っても産ませてあげるから」と 地震直後に病院で私達妊婦に言ってくれた言葉がすごく心強くそして安心感をあたえてくれました。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日： 3月10日 妊娠週数： 40週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

かかりつけの医院にいけないときどこの病院でもみてもらえるような受け入れ体制を希望します。今回の場合近所の病院で診察をうけようと思いましたが10ヵ月に入ろうとしていたのとガスが復旧していない状態で無理だったのかもしれませんがことわられました。少々不安な日をすごしました。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日： 3月10日 妊娠週数： 39週 吸引分娩
出産病医院の住所： 明石市

妊娠中の清潔にしておかないといけないときに断水などのために清潔にしにくい状況にあったことが一番つらかった。産婦人科の病院でも同じであるとおもいますが妊産婦等に優先に給水があればうれしいと思う。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日： 3月10日 妊娠週数： 40週 帝王切開
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

非常事態においても安心して出産できる体制が整っているように。また、乳児用品、子供の準備品と一緒にそなえられると妊婦にとっては安心できると思います。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日： 3月12日 妊娠週数： 39週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市垂水区

電話もつながらず1人でいるときなど「もしも」と思ったとき、ささいなことで相談できるところがあるといいですね。小さな不安をとりのぞけるような。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日： 3月12日 妊娠週数： 40週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

私の場合、ちょうど、33週位だったけれど、主人が10日位仕事を休んでくれた事で、気持ちが落ち着いて 別に医療や援助に希望する事はなかつたのですが、知り合いが生後2カ月の子連れて長田の避難所において、母乳がでなくてミルクが必要だったのでなくて 私達垂水のあいている薬局でミルク、おむつを買って届けてくれました。届けたのも2日位あとだったと思います。だからそれまでは、水もでなかったらしく、おしりもみんなのつばでふいてやっていたらしいです。おなかの大きな私よりも、小さな赤ちゃんのいるお母さんの方が よっぽど大変だっただろうと思います。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日： 3月13日 妊娠週数： 38週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市垂水区

- ・赤ちゃんだけでも毎日お風呂にいれるようにして欲しい。
- ・主人がいないあいだなどに水の配給があっても大きなお腹で何時間も並んでもらいその水を家までほこぶことはむりだった。だからなんらかの配慮があれば良いと思う。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日： 3月14日 妊娠週数： 39週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市垂水区

全半壊などの家庭には、医療費の補助があってもいいのでは…

被災時住所: 神戸市垂水区 初産婦
出産日: 3月15日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市垂水区

地震後は長い間入浴できなかったのが妊婦のための入浴施設がほしかったです。それから今回は精神的に恐怖感が長引いたのでおなかの子供への影響が不安でした。そういうことが相談できる場があれば良いと思います。

被災時住所: 神戸市垂水区 経産婦
出産日: 3月15日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市中央区

地震前にかかっていた病院は地震後、TELで救急or異常時のみ診察すると言われました。8カ月のおなかで地震後、力仕事も多く、かなり負担も多く、おかしいかな?と感じ、別病院を受診。早産しかけと言われました。人によって異常と感ずる程度も違うし、一人目の場合とても不安だと思います。出産までの精神的援助も大切だと思う。他の病院(診療可能な)の紹介等。

被災時住所: 神戸市垂水区 初産婦
出産日: 3月16日 妊娠週数: 40週 吸引分娩
出産病医院の住所: 神戸市須磨区

り災証明書があれば検診代金を減らしてもらえような援助をしてほしい。家が破損した場合などそちらの方にお金がかかるので。

被災時住所: 神戸市垂水区 経産婦
出産日: 3月17日 妊娠週数: 30週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市垂水区

緊急時の即時対応を希望します。

被災時住所: 神戸市垂水区 初産婦
出産日: 3月17日 妊娠週数: 39週 帝王切開
出産病医院の住所: 神戸市須磨区

今回の地震で感じたのは、やはり交通網がマヒしていたので、あの時に、もしもの事があった場合、どこへ行けばよいのか一目でわかる情報がほしかったです。又、よほどのことがない限り、診察には行かないので、非常事態がおこった際、医療サイドからの確認というか、1度診察に来るようになどという働きかけが欲しいです。

被災時住所: 神戸市垂水区 経産婦
出産日: 3月18日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市垂水区

水道、ガス、電気など止まった場合は病院を最優先に考えて使用できるようにしてほしい。

被災時住所: 神戸市垂水区 初産婦
出産日: 3月19日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 豊岡市

カウンセラー的な役割をもつ人がいて、心配事(身体的、精神的)を、ゆっくり聞いて欲しい。

被災時住所: 神戸市垂水区 経産婦
出産日: 3月20日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市須磨区

1月17日の大震災で須磨区の夫に実家が全壊しました自宅もライフラインの寸断でいろいろ大変でした。そんななか1/28に〇〇産婦人科を受診しましたが水もガスも止まったなかでDrやナースさんがいつもとかわらない笑顔で診察をされていることに安心し勇気づけられる思いでした。待合室にも救済物資が並べられ産後の方はとくに助かったのだと思います。非常事態にさいして正常な状態にある妊産婦にたいする援助としては心のケアが大切だと思います。ナースと話をするだけでもずいぶんこころが楽になる。

被災時住所: 神戸市垂水区 経産婦
出産日: 3月20日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市西区

・妊婦の場合、出産予定日が近ければよけいに入浴などが必要だと思います。その時に、入浴できる場を確保してほしいと思います。このあいだの様に車のじゅうたいが続くと、出産にまにあわないという事も起こると思います。その時は、優先で車を走れる様な事が大事ではないかと思っています。

被災時住所：神戸市垂水区 初産婦
出産日：3月20日 妊娠週数：39週 吸引分娩
出産病医院の住所：神戸市垂水区

地震の経験しかありませんが、やはり、1番苦勞したのが、お風呂でした。ガスの復旧が特に遅く、検診の時は、カセットコンロや熱帯魚用のヒーターでお湯を沸かして、必死に入浴しました。妊婦が特別とは思いませんでしたが、長い行列のできた銭湯に並ぶわけにもゆかず、当時、お風呂を1番希望しました。。

被災時住所：神戸市垂水区 初産婦
出産日：3月21日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市須磨区

どこの病、医院に行けば、迅速に診察してもらえるのか（急に陣痛や破水した場合など）今回の震災ではラジオが一番の情報を知ることができたのでラジオなどですばやく流してほしいと思いました。私の場合、震災の次の日が検診日で病院がやってくるかどうか分からない状態だった為そういうこともすばやく知らせてほしいと思いました。たとえやっていたとしてもふだんの検診だけでもみてもらうことはできるのかなど。

被災時住所：神戸市垂水区 経産婦
出産日：3月22日 妊娠週数：41週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

やはり、いつも通りの活動ができることではないでしょうか。〇〇病院は、うちが断水中でも、水洗トイレが使える、とてもホッとしたことを覚えています。

被災時住所：神戸市垂水区 経産婦
出産日：3月22日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所：神崎郡

- ・入浴（気持ちをやすらげられる雰囲気です。冬場は行き帰りが冷える）
- ・交通規制にかからない病院までの通行許可証。
- ・職場に神大グループの方が来られたことがよかった。

私は連絡ミスで受けられなかったが、精神的にも体調をくずしやすいので、職場だけでなく近くの人もみられないでしょうか。

被災時住所：神戸市垂水区 初産婦
出産日：3月23日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市須磨区

乳幼児の食事や、衣類等を被害の大小にかかわらず、配給してほしい。（被害が少なくても、手に入れるのが困難になる為）

被災時住所：神戸市垂水区 初産婦
出産日：3月24日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市須磨区

- ・医療を受けることのできる施設等の情報を徹底して提供する。メンタルな部分が多く体調が急変する方が多いと思うので。（ものすごいストレスがありました）
- ・飲料水など豊富に備蓄する。（市町村国で）産湯すらない状況だったときいているので、衛生面で
- ・他府県からの援助。

被災時住所：神戸市垂水区 初産婦
出産日：3月25日 妊娠週数：41週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市須磨区

- ・お風呂に入れない時の衛生上の注意などを伝達して欲しい。（妊婦・乳児）
- ・断水時のミルク作りや煮沸の仕方などを伝達して欲しい。

被災時住所：神戸市垂水区 経産婦
出産日：3月28日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市西区

安心できる場所の確保。

被災時住所：神戸市垂水区 初産婦
出産日：3月29日 妊娠週数：41週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市垂水区

- ・妊婦にはストレスがたまらないような空間。
- ・産婦にはミルク、おむつの確保。

被災時住所：神戸市垂水区 初産婦
出産日：3月31日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

衛生面でお風呂に何日も入れなかったのが妊婦としてつらかった。食生活もガス、水道がなく1か月半ほど十分なものが食べれなかった。子供が産まれていなかったのが良かったもののこういう事態のときは乳児は優先的に風呂や水の配給、おむつ、ミルクなど与えて欲しかった。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日： 3月31日 妊娠週数： 40 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市中央区

とにかく、おなかの赤ちゃんが無事かどうかわかりたい。今回、それまでかかっていた病院へ行けないと知った時、どの病院では妊婦検診がしてもらえるかテレビの情報案内で知ることができたし、無料検診もしてもらえることがわかった。今回の様な援助(?)でよいのではないかと思います。又、外来検診が再開された時に病院から連絡がいただけたのもよかったです。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日： 3月31日 妊娠週数： 39 週 吸引分娩
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

急な、体の変化に対応できるような救急体制が整ってほしい。それに 万がいち未熟児で出産した場合の新生児医療の体制をもっと、充実させてほしい。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日： 4月1日 妊娠週数： 40 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

医療面は自分自身が異常がなかった為具体的な要望はないが水がでるまで給水場までもらいにいったとき重たいものがもてないので長時間寒い中ならんでもらっても少ししかもらえずとてもつらかったところは忘れられない。食料も長い列で並んでの買ひだしは子供をつれて身重ではとうていできなかつたので飲料 食事面の援助があれば少しは助かったのと思う。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日： 4月1日 妊娠週数： 40 週 自然分娩
出産病医院の住所： 姫路市

避難先での検診をスムーズにうけるために、紹介状の発行をもう少し考えてほしい。病院側より、妊婦本人が〇〇までとりにこない、渡せないといわれたので、避難先の実家からガスの出ない自宅に戻り、もらいに行った。ウテメリンをのみ、つらく、時間もかかったので…本人以外に渡せなくとも、あて先の病院に送って下さるとかできたと思います。文書手数料も大災害のときは、仕方なく転院するときは無料にするとか…紹介状がなくとも診てもらえることはわかっていましたが数カ月の診察結果はやはり持っていきかけたので…

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日： 4月3日 妊娠週数： 41 週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

被害の程度によっては医療費の免除、又は減免をしてほしい。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日： 4月3日 妊娠週数： 41 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市垂水区

非常事態の時は動けなくなる人もいると思うので病院からのTELや家にきて検診するなどした方がよいのではないのでしょうか。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日： 4月4日 妊娠週数： 40 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市西区

水がストップした場合、妊婦に並んで水をくみ、(エレベーターが止まっているため)階段を登り降りするのはきつい。手助けしてくれる人がいると大変助かる。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日： 4月4日 妊娠週数： 39 週 帝王切開
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

病院へいきたくても行けないので(交通手段等)避難所等を医師に巡回して頂きたいです。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日： 4月5日 妊娠週数： 40 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

私が入院した時は、まだガスがでておらず、そんなに寒くなかつたのでよかつたのですが、赤ちゃんのおふろやお母さんのシャワーなども、大変だし、食事もかわってくると思いますので、その分の入院ヒなど、平等になるようにしてほしいと思います。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日： 4月6日 妊娠週数： 36 週 帝王切開
出産病医院の住所： 神戸市東灘区

骨折、けがの出血でも受診できないくらいなので、イヤでも妊娠していることなどわすれてしまわなければ ならない状態でした。特に 何をという希望はありませんが、何か異常を感じた時に相談だけでも受けられるシステム(Tel相談でも)があればと思います。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：4月6日 妊娠週数：34週 帝王切開
出産病医院の住所：神戸市須磨区
・病院の出張サービス
・心のケア（心配ごと、悩みごとなどの相談窓口）

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：4月7日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市中央区

妊婦がいつでも病院に行ける状態であってほしいと思う。私は1月17日が妊婦検診の当日で行きたくても行けず結局7日後に診察に行きましたが病院まで4時間かかりました。精神的にも体力的にもつかれました。不安をとりのぞいてほしいのですが病院に行けたらと思えました。弱い立場なので妊婦さんと子供を守ってあげてください。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：4月8日 妊娠週数：38週 吸引分娩
出産病医院の住所：神戸市垂水区

被災地内の安全な病院をしらせてほしい。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：4月8日 妊娠週数：41週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市須磨区

非常事態後は子供の事がものすごく心配になるので 毎回 超音波断層のない病院でも 母親に安心をあたる意味でも超音波で胎児の様子を見せてあげる方が精神的安定を得られると思います。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：4月11日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

私自身は体も元気で無事でしたが家をうしなった人とか家族を失った人は精神的にも大きなダメージがあると思う。そういう人にこころのケアをもっとできるように望みます。また兵庫の方で学校で妊婦検診をしていたのをニュースでみて感激しました。それから妊娠中の水運びはハードでした。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：4月11日 妊娠週数：33週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市垂水区
・精神面のケア。
・優先的に、衣食住を整えてもらう。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：4月12日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市垂水区

とにかく尿が近くなるのでトイレだけはすぐいける所に場所にいたいです。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：4月12日 妊娠週数：26週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市中央区

病院が自家発電等でしっかりしてほしい。（機能）できれば様子を電話してほしい。早産を止める薬を確保しなかった。援助では妊娠中より生まれてからの方が大変だと思う。物資的にもおむつ、水、ミルクが手に入らなかったと聞きます。精神的にも赤ちゃんをかかえている方が大変。私は妊娠中にかえってよかったと思っています。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：4月12日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市垂水区

「水」の必要性がとても感じられた。妊産婦に限らず何でしょうが尿の回数はかなり増えていたし清潔でいたいと気持ちがあって水がかなり必要でしたが切迫早産で給水車がきてもそう取りに行けなかったから。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：4月12日 妊娠週数：36週 帝王切開
出産病医院の住所：神戸市垂水区

（切迫流産・早産・破水などの）緊急時の病院までの輸送。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：4月12日 妊娠週数：36週 帝王切開
出産病医院の住所：神戸市垂水区

緊急時（おなかが張るとか破水とかetc）の病院までの輸送。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：4月13日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市垂水区
各地域をまわって下さる先生がいっ
しゃると助かると思います。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：4月13日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市垂水区
今回の地震では水道が止まってしま
ったことが大変困りましたので入院
をしていた妊婦さんは時に不安だ
ったと思います。又、赤ちゃん（新
生児のいる家庭での水不足も深刻
だったと思いますのでまず、水の
確保を優先していただけたらと思
います。

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：4月13日 妊娠週数：37週 帝王切開
出産病医院の住所： 神戸市西区
最低限の物は、確保してほしい。（水、
食料）

被災時住所： 神戸市垂水区 初産婦
出産日：4月14日 妊娠週数：40週 吸引分娩
出産病医院の住所： 神戸市須磨区
水もガスも出なかったので、お風呂に
入れずこまりました。お風呂に入
ればお腹の子も一番元気に動い
てたのでつらかったです。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：4月15日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所： 豊岡市
他の病院とすぐ連絡できるシステ
ムをつくって、今回のような時
でも安心できるようにしておい
てほしい。

被災時住所： 神戸市垂水区 経産婦
出産日：4月17日 妊娠週数：37週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市須磨区
今回の地震でも、交通の便以外に
別に困った事が、なかったの
で、考えつかない。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日：1月17日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市
患者というものはすごく心細い
ので 災害時には特にケアが必要。
最低限、診察できる状態だけは
保っておいてもらいたい。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日：1月17日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市
粉ミルク、紙おむつ、熱湯などの
確保。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日：1月18日 妊娠週数：38週 吸引分娩
出産病医院の住所： 明石市
専門的にみていただける病院が災
害の時にあると安心します。今
回のように神戸では大きな病
院でも被害にあい入院すること
ができずお産直前で他の病院を
さがし回ったお話をききました。
私の場合は地震当日に陣痛がは
じまりましたが 病院は無事で
なんのしんばいもありません
でしたが安心して妊娠、出産が
できるようどんな場合にも対
応できるようにこれから救急
マニュアルをしっかりと考
えていってほしいです。

被災時住所： 明石市 経産婦
出産日：1月18日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市垂水区
破水してから病院まで6時間か
かりました。緊急時、自家用車
でも早く行ける方法も考えて下
さい。1時間も走れば豊富な食
料は売っているのに入院先で
の食事は実に素食でした。暖房
も水もないのに平常料金なの
には誠意が感じられませんでした。

被災時住所： 明石市 経産婦
出産日：1月18日 妊娠週数：35週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市須磨区
おかあさんが安心して、心のゆ
とりの出来るように接して頂
けるような病院が良い。おな
かの中の赤ちゃんのことも詳
しくどのような状況でいるの
か、わかるようにしてもらい
たい。

被災時住所: 明石市
出産日: 1月19日 妊娠週数: 40 週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市
非常事態のときなどに上の子供がいた場合一緒に入院できれば親も子も安心していられると思います。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 1月19日 妊娠週数: 40 週 吸引分娩
出産病医院の住所: 加古川市
ありきたりな事だけど、やっぱり一週間以内には、健診してほしい。何よりもお腹の子供が気になるから。今回のように地震で家がつぶれてしまった時、できれば、テントや体育館ではなく、病院の中で生活させてほしい。何かあった時に不安だから。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 1月22日 妊娠週数: 38 週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市垂水区
予定日も近く電話も通じる状態ではなかったのが不安だった。チラシなどで最悪見知らぬ病院でもいいから陣痛がおきたら受け入れてくれる病院の情報をとにかく早く知りたかった。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 1月22日 妊娠週数: 39 週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市
体のケアだけでなく、心もケアしてもらえたらと思います。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 1月22日 妊娠週数: 39 週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

- 精神的ショックや地震の場合家具の下敷きになったりしているので 赤ちゃんに影響がないかすぐに検診を受ける事ができれば安心できる。
- 私の場合 出産予定日がせまっていたのでもし自宅(播磨町)にいて病院(明石市)に行くとしたら電車は動かず車も渋滞のため通常20分の所が2時間近くかかってしまうので急に陣痛や破水したらどうしようという不安があり結局水の出る所から水の出ない実家(明石市)にずっといなければなりませんでした。やはり緊急時の交通方法の援助が必要だと思います。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 1月23日 妊娠週数: 37 週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市
校区単位で相談できる担当スタッフががいれば心強いです。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 1月23日 妊娠週数: 37 週 吸引分娩
出産病医院の住所: 神戸市須磨区
今回、はじめての出産だったにもかかわらず、地震という非常事態にあい毎日が不安でいっぱいでした。病院に1度破水らしきものがあつた時TELをしたら病院も水が出ないので、もしかすると、他の病院に変わってもらうかもしれないという返事がかえってきたので、さらに不安になりました。ですから、そのような非常事態な時でも普通とかわらない診察ができるたいせいをとってほしいと思いました。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 1月24日 妊娠週数: 40 週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市
急に陣痛がきたり異常があつたときは産院までいける場合はよいが行けないときは救急車およびそれにかわる輸送等があればいいと思う。かかりつけの産院が遠い場合は緊急に診てくれる所があればいいと思う。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 1月24日 妊娠週数: 39 週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市西区
その時になってみないとわからない。どんな時でも母子の安全を考えて欲しい。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 1月24日 妊娠週数: 41 週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市西区
地震の日の夜、少しおなかが痛くなってきたので、病院に電話を入れたのですが、病院の方は、忘しいにもかかわらず、親切に対応してくださったので、大変、心強かった。妊婦は、とても不安なので、特に、非常事態に対しては、すごく、いつも以上に不安なのでこのように、どんな時でも、親切にこれからも対応していただきたいと思います。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 1月25日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 加古川市

災害で病院が診察できなくなった時、どこへ行けば、診察を受けられるのか、受け入れ先等あらかじめ、医療機関内で決まっていれば、多少安心である。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 1月26日 妊娠週数: 36週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

私は出産を実家の近くでと考え西明石にすんでいます。須磨まで検診に行っていました。地震後一度家の近くの〇〇産婦人科でみていただき、その後1週間で出産となる(先生のよく引き受けて下さったものです。)出産するものこころよく引き受けて下さいました。気分が落ち込んでいただけに先生のおやさしい言葉にどれだけ勇気づけられたことでしょうか。この様な先生に出会うことができ私は本当に幸せでした。皆が〇〇先生のような方であつたらと思います。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 1月28日 妊娠週数: 37週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

今回3人目だったので実家に帰らずに自宅近くの病院で産むことを決めていたのですが産後実家に帰る予定が実家が半壊で交通のことで帰ることが出来ませんでした。近くに身内もなく病院から退院後しばらく大変でした。とくに上の子も小さいため休む暇なしでした。主人が仕事しにいく間子供達を入院している間どうしようかと心配しました。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 1月29日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

病院にいけなくなってしまうということもあるので、電話または往診で体の状態をわかっていたきたいと思います。(特に出産間近の場合)

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 1月29日 妊娠週数: 39週 帝王切開
出産病医院の住所: 神戸市西区

やはり災害というものは忘れた頃にやってくるものですし、一番 皆のわかりやすい市・区役所などには、毛布や、非常食、水、オムツミルクなど、この震災で大変必需品だった物などをある程度そろえておくと思う。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 1月31日 妊娠週数: 40週 吸引分娩
出産病医院の住所: 明石市

出産時異常事態になった場合のBack-up体制が確保されるように強く希望します。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 1月31日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

出産予定日が迫っていたため、入院の際に交通手段のことでとても不安が大きくて困りました。電話が通じないため、タクシーが呼べない 道が混んでいる、主人が留守の時なら自分で車を運転していくしかなく、上の子をつれてどうしようかetc.不安がいっぱいでした。何か対策ができれば、助かる人もいるでしょう。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月1日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

今回は幸い被害はありませんでしたが妊娠中などに避難所などで暮らさねばならなくなったら気候(暑さ、寒さなど)衛生面、体調の変化があった場合すぐにみてもらえるかなど不安はたくさんあります。また新生児をかかえていた場合水やより安全な場所への移動など優先してもらえるとありがたいと思います。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月1日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

家で陣痛が始まった時に、交通渋滞などで、病院に行けなかったらどうしようかと不安になったりしたので、できるだけ早く入院できるようにしてもらいたい。(予定日が近い時は、前もって入院できるとか)。

被災時住所： 明石市 経産婦
出産日： 2月 1日 妊娠週数： 38 週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市
親切、迅速に対応してくれる事。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日： 2月 1日 妊娠週数： 40 週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

地震後、とても不安になったが、〇〇先生が一日おきに診察して下さったので随分、精神的に落ちつきました。妊婦の精神安定のためにも、このようなこまめな診察は大変大事だと思います。病院に大きな被害が出た場合のことは、ちょっと考えられません。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日： 2月 2日 妊娠週数： 35 週 帝王切開
出産病医院の住所： 神戸市西区

内診の時、下の股に入れるかねの道具をもう少しゆっくり入れてほしいです。地震でこわいせいか体がこうちよくしてしまってとてもいたかったです。

被災時住所： 明石市 経産婦
出産日： 2月 3日 妊娠週数： 35 週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

私自身は余震で目覚めて破水して出産となりましたが地震そのものによる被害もほとんどなく病院も車ですぐのところだったのでまだ良かったとは思いますが。全壊、半壊や主人の会社の被害状況などですごく大変だったひともおられると思います。検診費分娩費などの負担や精神的にもかなりのショックを受けたと思いますので具体的には思いつきませんが気持ちがゆったりするようなシステムがあればと思います。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日： 2月 3日 妊娠週数： 38 週 自然分娩
出産病医院の住所： 姫路市

診察をすぐうけれるように設備を整えて欲しい。私自身1カ月に入っていたのでお腹の赤ちゃんの事がとても心配で、なんとかお医者さんに見てほしかった…（病院に行っても診察をしてくれなかった。）そうすれば少しの不安がとれたと思う。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日： 2月 3日 妊娠週数： 38 週 自然分娩
出産病医院の住所： 神戸市垂水区

今回の地震で、水、ガスが止まったので、毎日、重い荷物を団地の5Fまでもってあがったりしたから、予定より少し早いお産になった。病院でも窓がガラスで、余震が来ると不安だった。何かあったら、子供とすぐ逃げられるように母子同室が望ましいと思う。

被災時住所： 明石市 経産婦
出産日： 2月 3日 妊娠週数： 40 週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

病院側とすれば、少し、わずらわしいかもしれないけど、本人が、かかりつけの病院が被害を受けていたら、すごく不安なので、どこの病院でもみてもらえたら幸いに思う。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日： 2月 4日 妊娠週数： 39 週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

今回のように寒い時期だと冷えやすいので温かい毛布や避難所など老人同様優先して与えてあげられたらと思います。（実際自分自身もかぜをひき高熱を出してしまったしお腹のはりもかなりひどくなったので）後は、安心して産めるという病院側の設備の充実。そして十分なミルク、おむつの備品があること。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日： 2月 5日 妊娠週数： 38 週 自然分娩
出産病医院の住所： 高砂市

非常事態がおこり避難所ですごさなければならなくなった場合、栄養のある食事の確保をしてほしいと思います。

被災時住所： 明石市 経産婦
出産日： 2月 5日 妊娠週数： 40 週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

妊婦は栄養面を気をつけなければいけないので、非常事態のとき食品面や食料のことを考えて頂いて欲しいです。食べるものがなく今年の1月17日の地震のとき困りました。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月6日 妊娠週数: 40週 吸引分娩
出産病医院の住所: 明石市
安心して生める場所の確保。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月6日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市
・物資の優先的配分
この度の震災は冬だったが冷たい体育館で寒さに耐えながら板間で寝ていたということ(知人の話で)

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月6日 妊娠週数: 40週 吸引分娩
出産病医院の住所: 明石市
今回こちらのほうでは被害は少なく通っていた産婦人科も大丈夫だったのでよかったですがもしその産婦人科がだめだったらどこの産院に通ったらいいのか情報がすぐわからず不安なときを過ごしそうです。ふだんからどこにどういう病院があるまか地図みたいなのがあればと思いました。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月6日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市
どんなときでも分娩を受け入れてくれるような万全の態勢をとれること。地震があり妊婦にとっては出産というものだけでもかなりの不安というものがあるのにまして病院が万全の状態ではないとなれば精神的にも良くないと思う。テレビ等で赤ちゃんが産まれても初湯に入れてあげることができないなどのニュースをみる度に自分の産まれてくる子供はいついどうなるんだろうという心配がいつもありました。そういう状態にならないようにしていただきたい(水の確保等)

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月7日 妊娠週数: 41週 吸引分娩
出産病医院の住所: 明石市
交通の状態がどのように被害を受けるかわからないので遠くから診察にこられている人で予定日は近くであるなら早いうちに入院できれば安全で妊産にとっても不安をもたなくてはならないのでしょうか。(非常事態がはっせいしたとき)

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月7日 妊娠週数: 41週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市
もし何かあった場合にそなえてすぐに入院できるようにしてほしい。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月7日 妊娠週数: 35週 帝王切開
出産病医院の住所: 神戸市須磨区
・どこのどの病院又は医院で診察可能なのか、早く知らせてほしい
・妊産婦、新生児、乳児専用のおフロの完備
・ナプキン、紙オムツ、ミルクの迅速な支給
・妊産婦、新生児、乳児専用の清潔な部屋の確保

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月7日 妊娠週数: 38週 吸引分娩
出産病医院の住所: 神戸市西区
普通の時ととがって、時間がないように思います。検診もきまって、1カ月後と何週間後とか言われても、自分や自分の身内のことで行けない時、やはり、一般の人とちがって、おなかに赤ちゃんがいるので、不安になります。だから、いつどこの病院でみていただいても、かかりつけではないので、少しとまどってしまいます。こんな時、どうすればよいか、あらかじめ、わかっていたら、安心できそうです。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月8日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市
診察料や出産費を援助してもらえれば助かると思います。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月8日 妊娠週数: 37週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市
その時の妊婦検診の費用の軽減を希望します。家が全壊した人など家族をなくした人など、お金の面でこまっている人がふえるのではないかと。思っています。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月10日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

停電 断水時にも出産できるように。
病院にある程度の設備があると安心できる。
個人病院では難しいと思うが…

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月10日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

病院の規模の大小に関係なく水→県、市の協力。ガス→プロパン等、電気→自家発電が確保できるようにしてほしい。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月10日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

もし自分がいっている病院が診療してもらえなくなった場合はすぐに他のびょういんを紹介してほしい。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月10日 妊娠週数: 37週 帝王切開
出産病医院の住所: 神戸市須磨区

- ・大きなおなかと言う事で、動きがとりにくいので、妊婦の立場での行動を指導して欲しい。
- ・ただでさえ、不安な気持ちの多い妊婦なので、それに加え、非常事態での心配になる様な事の言動は、ひかえて欲しい。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月11日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

私のかかっていた病院は地震後通常通りだったので安心したがその病院で出産できるのどうかを一番心配した。病院運営の情報は第一だとおもう。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月12日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

新生児が入浴できずに お尻がただれていたのをTVで見ました。どの子も、清潔にしたい!!

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月14日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

出産予定の病院が被害にあい生産できなくなった場合すぐ他の病院を紹介していただけるのか？

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月15日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

私の場合35週のとき地震がおきたので家はライフラインは電気がつくだけという状態でしたが〇〇病院で出産すると決めていました。不安な気持ちのまま1月20日に検診にいきましたが水道は十分に使用できる状態ではありませんでしたが医師、看護婦さんの落ち着いた態度やいつもとかわりない様子で勇気づけられ、これならここで入院しても大丈夫と安心しました。やはり非常事態のなかでも医療に従事するかたの態度ややさしさが最も大事なのではないのでしょうか。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月15日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

精神的にも肉体的にも大きなショックを受けた後なので妊婦としては胎児の状態がどうなっているのかということが一番気掛かりであったと思います。検診、かかりつけにかぎらず最寄りの病院で赤ちゃんの無事(状態)を診察していただけたら良かったのではないかと思います。私の場合骨盤位だった子供が頭位になっていたので地震がかえってよかったことになりませんが逆の方もいらっしゃりたいなのですぐにみていただけたらいいと思います。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月15日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

妊産婦、乳児、幼児などの確実な保護。
医療機関の確保。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月16日 妊娠週数: 42週 帝王切開
出産病医院の住所: 神戸市西区

妊産婦は普通の状況でも不安になったりするものなので災害時はテントでもどのようなかたちでもいいので検診など先生方と話をするなど…何箇所かというのではなくたくさんの場所で行って不安を解消するなどの工夫を望みます。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月18日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

私はまだ予定日まで1カ月近くあったので病院の方に電話して電気、水道、ガスなどのライフラインの状況を聞いて分娩が1カ月後に可能かどうか判断してそのまま同じ病院で産みましたが転院というか(TVの情報をもて)別のびょういんで産むことも一時考えましたので。その情報を受ける手段がTV、ラジオしかないことがこれからとても不安です。電気がつかないときなどはどうすることもできませんので。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月18日 妊娠週数: 40週 帝王切開
出産病医院の住所: 明石市

妊産婦に限らず乳児をもつ家庭に対して、水やおむつの配給、診察等の優先をできるようにしてほしい。テレビetcで飲めないわき水等でミルクをつくらないといけない母親を見て人事とは思えなかったの。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月18日 妊娠週数: 39週 吸引分娩
出産病医院の住所: 加古川市

私が住んでいる所は、今回の地震で水が断水状態が続いたので身体を清潔にしたいとお風呂に入りたかったです。夏場だったら特にそうだったと思いますが、冬でも2~3日ぐらいしかがまんできませんでした。でももし子供が産まれていればもっと水が大切だったと思います。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月18日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

精神的な不安がとても多いので、常に緊急に対して、対応してもらえる、窓口を設けてほしい。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月18日 妊娠週数: 28週 帝王切開
出産病医院の住所: 神戸市須磨区

災害に強い産(病)院でいつ何時でも受け入れてもらえる状態であってほしい。

今回お世話になった〇〇病院では設備はもちろんのことスタッフの方々の十分ないきとどいた気配りなどで感激しましたし夜間であっても安心でした。けれど他の産(病)院では夜間の看婦さんなどの人数もごく少ないところの方が多いと思いますが突然の災害などではパニックになりかねないのでは…と思います。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月20日 妊娠週数: 38週 帝王切開
出産病医院の住所: 明石市

紙おむつ、ミルク等すぐ援助できるようにしてほしい。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月21日 妊娠週数: 38週 帝王切開
出産病医院の住所: 明石市

もし出産となったときには自分が出産しようと思った病院がダメだったときにはすぐにうけいれてくれる病院を準備してほしい。そしてなによりも子供に使用する物はどんなときでもあるようにしてほしい。連絡のできることをふだんから非常の時期に対することをテレビなどでなんらかの形で市民につたえてほしい。出産に対する必需品やさんご必要な物(子供ミルク、ティッシュ、ガーゼ)早く用意できるようにしてほしい。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月21日 妊娠週数: 37週 自然分娩
出産病医院の住所: 高砂市

不安をとり除いて欲しいので、保健婦の訪問や、歩いていける範囲での検診や相談所の開設を早目にして欲しい。専門家の方に話を聞いてもらえるだけでも、安心感が得られると落ち着くもの。そういう情報や物資の援助がどこにいても得られるような連絡網やネットワークがあれば良いと思う。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月21日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市
・生活出来る場所を用意して欲しい。
・水くみが出来ないので、手伝って欲しい

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月21日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市須磨区
紙おむつ、ミルク等の援助はもちろん、
授乳や、おむつ替えの出来る場所の確保
精神的苦痛のカウンセリング等。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月22日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市
交通網の確保。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月22日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市
普通の時でも気持ちがとても不安だった
のに電話も通じずラジオだけの情報にた
よっていたため直後はもし何かあっても病
院が開いているのか心配でした。だから病
院の被害状況をもっと情報として流してほ
しかったです。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月22日 妊娠週数: 38週 吸引分娩
出産病医院の住所: 明石市
避難所での生活は無理だと思います。妊
産婦をあつめて収容すれば精神的に楽だと
思います。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月22日 妊娠週数: 37週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市
妊娠9ヵ月だったので(まして3人目なの
で)無事にもちました。産後まもないかた
のミルクやお湯やお風呂…とても大変だっ
たと思います。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月22日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市
交通事情等で今まで通院していた病院に
行けなくなった人に近くの病院でも対応で
きるようにして又、病院に行けない人にも
何らかの対応をしてほしい。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月22日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市
食糧、環境など最低限の備えと体調が変
わった時に診察していただけるスタッフが
すぐかけつけられるような準備が必要だ
と思う。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月24日 妊娠週数: 40週 吸引分娩
出産病医院の住所: 明石市
平穏な状態でも産気づいた時は、とても
不安になったので、地震の前後などに
出産した方はどんなに大変だったろう
と思う。非常事態でも安心して出産
できる場所や人手を確保して欲しいです。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月25日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市
電話も通じにくい、道路は渋滞、救急車
も呼べない事態となったときの緊急連絡先
を明らかにしておくこと。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月26日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市
頼りにする事が出来る親戚・知人が近く
にいない妊産婦は、精神的に不安定になる
と思うので、その人達を受け入れる事が出
来る場所を確保し、その場所をテレビやラ
ジオ等で、連絡出来ればいいのかと思う。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月26日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市垂水区

この地震で分娩が早くなるのではないかと不安になり、又、この状態で分娩ができるのか心配になった。自分のかかっている病院でもし出産ができなくなったら？どうすればなど、精神的に不安な面がすごくあったのでちゃんとした情報を早く、伝えて欲しかった。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月26日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 西宮市

- ・交通事情が悪く、急に産気付いても病院へかけつける方法が無かった。救急車にしても道路事情が悪く進まないことはわかっていて、そのためバイクを購入し、万が一に備えた。結果的には私は不安でしたが。
- ・一部赤ちゃんに「コーヒー牛乳を飲ませた」ということを聞きました。おむつを変えてやれないMilkがないということは親にとってホントにつらいことだと思います。必要物資がいち早く届く、交通事情の対策が必要だと思います。
- ・もともと通っていた病院へ通うことが出来ず、家から最も近い医院で健診してもらいました。気持ち良く受入れて下さって有難かった。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月27日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

- ・とにかく精神的に不安になるので今回のように診療不可能になった場合次にどうすればいいかということを患者にきちんと説明するなどして不安をとりのぞいてほしい。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月27日 妊娠週数: 37週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

- ・イライラせず、ゆっくりと休める場所をあたえてくれる。
- ・産後の事の心配をしなくてもよい。
- ・いつ出産になってもよいという状態。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月28日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

私自身は特別な被害にあったわけではありませんが報道関係で知る限りでは精神的な面での援助は大切だと思います。食べ物、ねるところの確保もだいじですけどできるだけ早くに診察がうけて体調がどうかというところ分かるように医療きかんが動いて欲しいです。それぞれちいきで医療方法があるかもしれませんが他府県等の医療関係者も早くうけいれ早急な援助や介護してほしいです。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 2月28日 妊娠週数: 41週 自然分娩
出産病医院の住所: 小野市

とにかく、赤ちゃんの安否が心配なので、診察してもらえる環境と先生に近くにいるほしい。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 2月28日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 加古川市

- ・おなかの赤ちゃんが、元気であるかどうかが一番心配なので、すぐに、みてくれるような医療がいいです。
- ・元気だとわかると安心するから…

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月1日 妊娠週数: 40週 帝王切開
出産病医院の住所: 明石市
迅速な対応。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月1日 妊娠週数: 38週
出産病医院の住所: 明石市

妊婦に関しては、本人一人だけなので、比較的楽だと思います。(但し 体に変調をきたしている場合は別ですが) かかりつけでない病医院へ行ってもその人のカルテ内容がわかる様なならいいのではないのでしょうか(母子手帳の内容を充実させるとか) 赤ちゃんが出来たら、今回のケースでは本当に大変だったと思います。紙おむつやミルク、沐浴、その他、何でも助けていただけたら ありがたいと思います。お母さんの体も少しは休まるのでは、と思いました。(母子共に受け入れて下されば一番ですが)

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月2日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

どれだけ早く産婦のために対応できるかということはずかしいと思います。

(私だったら)今回の地震でたくさんの方がさんけずいたと思います。何があっても生まれてきた子供には産湯にもつからせてあげたいし、ミルクでもたくさんあると思うんです。紙おむつなど早くくばってあげるとかしてほしかったです。みんな自分のことで頭がいっぱいだろうけど産婦のことも考えてほしいです。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 3月2日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 加古郡

とにかくおなかの中の赤ちゃんの状態が心配なので、今までみていただいた先生でなくてもよいから、健診してもらって、異常があるかないか知りたい。それと、予定日に近い人は、一応入院させてもらった方が安心だと思う。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 3月2日 妊娠週数: 27週 帝王切開
出産病医院の住所: 神戸市須磨区

病院までの車の確保。(1人の時どうすることもできないので)

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月3日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

妊娠中は気持ちが不安定なときが多く日頃から敏感になるので緊急のさいはとくに少しでも落ちついた気持ちになれるよう女性の方の隊員さんがいればよいと思う。男性よりも心強いと思います。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 3月4日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市西区

自宅近くで定期検診をしてもらうなど。医療チームが、バスか何かで近所まで(産婦が歩ける距離)やって来て、診療をうけさせてもらうことが出来ればいいのでは。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 3月4日 妊娠週数: 38週 帝王切開
出産病医院の住所: 明石市

心の傷はなかなか治りませんがせめてゆっくり横になれるところあたにかい気分になれるところがあればいいですね。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月4日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市西区

今回の震災は、特に例がないくらい被害が大きかった様ですが、それにもかかわらず医療関係の皆様は、本当によくがんばっていらっしやったと思います。自分のことはさておき、産婦をはじめ、ケガ人の方々にまでよく尽くされていたと思います。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月7日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

最優先で診察してほしい。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 3月8日 妊娠週数: 39週 鉗子分娩
出産病医院の住所: 神戸市北区

医療というよりもやさしい言葉で救われたという人が私のまわりで多かった。救援物資でおしりナップがあれば。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月8日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

緊急時の連絡先を確保してほしい。地震でどこも連絡がとれなかった時期一番心配だったのは何かあったとき病院にも救急車にも連絡がつかなかったらどうしよう、家でうむことになったらどうしよう、などでした。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日： 3月8日 妊娠週数： 41週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

今回の大地震で出産を予定通院していた病院が機能不可になりこれまで受けてきた検査のデータや保険の効かない高額な検査結果の内容が全て無効というかだめになってしまった。データ内容などをオンライン化しせめて他府県の市民病院もしくは市の保健所でデータを保存し別の病院でまた改めて同じ検査を行わなければならないようなことにはしないで欲しい。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日： 3月10日 妊娠週数： 41週 吸引分娩
出産病医院の住所： 明石市

地震の直後からずっと神戸妊婦さんはどうしてるのか、当日生まれてる赤ちゃんもいるのではないかと、気にしていたけれど、テレビなどで、そういう話題がとり上げられたのは、ずい分あとになってからでした。臨時でお医者さんが検診をされてる報道がありましたが、もっと早くできるようになればと思いました。

被災時住所： 明石市 経産婦
出産日： 3月10日 妊娠週数： 40週 吸引分娩
出産病医院の住所： 明石市

主人や家族と一緒にいれるような条件づくり。たとえば、主人の仕事がお休みになるとか…という。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日： 3月12日 妊娠週数： 39週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

安心していられるように、かわりの病院のてはいや、不自由のないような、生活の場を保障してほしい。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日： 3月14日 妊娠週数： 39週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

断水で何日も入浴できませんでした。近くにお風呂やさんはあったのですが寒いなか何時間も並んで待つことは妊婦には無理です。おなかに赤ちゃんがいるから清潔にしておきたいのです。何とか妊婦が楽に入浴できるようにしていただきたらと思います。それと今回はそれほど食べるものに困りませんでしたがとても不安でした。食料のてんでも安心できるようにしてほしいです。

被災時住所： 明石市 経産婦
出産日： 3月14日 妊娠週数： 41週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

特に精神的安心感が得られるよう、指導して頂きたいです。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日： 3月14日 妊娠週数： 39週 吸引分娩
出産病医院の住所： 神崎郡

人命救助を第一に考えて活動していただきたい。けれど今回のような大震災を経験し、テレビなどで神戸の病院の様子を見るとどこまで病院側に要求できるのか考えさせられます。以前は家での出産が多かったと聞きます。現在は医療に関する道具が病院に沢山ありますが、スタッフの方々が、最小限（お産に関して）のもので出産できる知識をそなえてほしいと思います。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日： 3月16日 妊娠週数： 40週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

非常事態では無理なことと思いますができれば清潔な場所で診療を受けたいです。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日： 3月16日 妊娠週数： 40週 吸引分娩
出産病医院の住所： 明石市

宝塚の避難所にいましたが「妊婦がこんなところにくるな」と知らないおじさんにいわれたことがかなしかった。水道が1週間なかったので水をくみにいきたかったがおなかが大きくていけなかった。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月18日 妊娠週数: 36週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

今回は道路などが混雑していて、病院などに通う時が時間がかかった。しかし幸いにして通っていた病院に被害がなかった為ずっと通え、特に問題はなかった。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月19日 妊娠週数: 39週 鉗子分娩
出産病医院の住所: 明石市

お店等がしまっしてしまっていたら、紙おむつやミルク、お湯などわけてほしいです。(赤ちゃん用品)

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 3月20日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

常識的に、ふつうの患者さん達に対する医療援助のように出来るだけのことはしてもらいたい。でも、いざという時には、したくても出来ないということがあるから、具体的にここをどうとかあれをどうしてほしかったということは挙げられません。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月20日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

最新医療機器によらない検診も必要(平素より)

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月21日 妊娠週数: 41週 自然分娩
出産病医院の住所: 洲本市

- ・電気・飲料水 等の確保。
- ・災害医療の知識や技術を有するボランティアの育成。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月23日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

我家は水道が、5日間、電気が数時間断たれただけです。比較的日常生活を送れましたが、妊婦だけとか妊婦と老人だけの家庭では水くみが切実な問題でした。又、ガスは1カ月以上かかりましたが、もし、生まれていたらと思うと、赤ちゃんが本当にかわいそうです。ライフラインが断たれた場合、妊婦や新生児のいる家族が、避難できる場所があればと思います。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月24日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

通院している病院以外で緊急時に診ていただける産婦人科の情報を何らかの形で流してもらいたい。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 3月24日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市須磨区

- ・安全な所に、行きたい。
- ・粉ミルク・紙おむつ等 赤ちゃんや妊産婦に必要な、衛生的なものがほしい。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月24日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市西区

やはりお腹の子供が大丈夫かどうかが一番心配なので妊産婦の検査が必要だと思います。また、産まれそうな人にはすぐ対応できる様に移動できる車で出産可能な設備があればいいと思った。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 3月25日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

私自身は31週で地震にあいはじめての妊娠。いざというとき走れない、主人は会社の寮で生活(JR不通の間)などで精神的にもすごく不安でした。夜暗くなるのが恐く眠れないこともよくありました。精神面でのケアが欲しいです。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月26日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 加古川市

何かあった時に 診察をすぐしてもらえる病院など、安心できる情報が欲しい。
電気、ガス、水道などが止まった時でも困らず分べんできる病院が増えるとよい。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月28日 妊娠週数: 41週 自然分娩
出産病医院の住所: 小野市

・今回の震災では冬の寒い中、妊婦の人が避難所に寝泊まりしなくてはならなかったようだ。そういった人達を援助したり相談を受けたりする機関や施設があり、全部の病・医院がそこと連絡をとりあえるようなシステムがあれば…と感じました。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月28日 妊娠週数: 41週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

妊産婦は、精神的に敏感になっているので、災害等によるショックが大きいので心のケアを主とするカウンセラーを希望します。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月28日 妊娠週数: 41週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

よくわからないですが、そういう被害を受けた時、やはり、経済的な事で妊娠の場合保健がきかないのでちょっと不安に感じます。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月28日 妊娠週数: 38週 帝王切開
出産病医院の住所: 明石市

1. まず安全な場所に移すことが大事だと思います。妊産婦の頻繁になる不安を解消すること。
2. 物資の援助 (たとえば衣類、食物など)
3. 適当な医療保証。(いつ出産するか分からないですから、安全な場所で安心できる医師がつくのは大事だと思います。)
4. 精神医のアドバイス (家族を失う場合、出産に対する自信などの相談)

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 3月29日 妊娠週数: 41週 帝王切開
出産病医院の住所: 加古川市

常に、清潔な水があること。
もちろん、非常時のためのベッドとか、出産の道具、帝王切開なども、そろっていることが、安心につながると思う。アフターケアも。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 3月30日 妊娠週数: 39週 帝王切開
出産病医院の住所: 明石市

非常事態の後のおなかの子供のことが心配なので検診でなくても妊婦の臨時の検診をうけられるようにしてほしい。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月30日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 加古川市

妊産婦に限らず、病気の人や老人などを避難所ではなくもっと設備(空調、医療、食事等)の整った所へ集中的に収容し、効率よく援助できる体制を作る必要があると思う。妊産婦に限ると尿の回数が多いのでおトイレの確保(洋式)が必要。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月30日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市
妊産婦のための避難所。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月31日 妊娠週数: 37週 吸引分娩
出産病医院の住所: 神戸市西区

精神的な面、ことばでのケアも今まで以上にお願いしたい。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 3月31日 妊娠週数: 40週 吸引分娩
出産病医院の住所: 明石市

- ・妊産婦をはじめとして、力を必要としている人に、すぐ連絡がとれるシステム。
- ・臨月期などでは、特にヘルパーさんなどを派遣できれば良いと思う。
- ・定期検診がきちんと受けられるようになれば、安心できる。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 4月2日 妊娠週数: 38週 帝王切開
出産病医院の住所: 明石市

いざという時、すぐに、診察が受けられるようにしてほしい(できれば 家から近い病院で)

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 4月3日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

今回の地震の場合はとてもひどかったですけど、とにかく非常の場合の水というのはとても大切だと思いました。もちろんガス、電気も必要ですけど。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 4月3日 妊娠週数: 37週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市西区

私のときは6ヵ月のときから子宮が開いていたのですごく心配でしたけど先生や看護婦さんたちにたいへんお世話になりよかったです。でも知人ははじめてのお産で何もわからず1月19日に出産、でも何の説明もなくとまどっていました。3人目の私でもどうだったかなと思うのに初めてでふあんでなやんでいました。産湯にもはいらずだったのにせつめいだけでもどんなことがあってもしてほしいとおもいます。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 4月3日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

現在赤ちゃんのいる生活の中で、あの様な大地震等に遭った場合、市や県で十分な保護体制があるのは、望ましいけれど、もっと身近な単位で物資(ミルクやおむつ)をもらえたり、妊産婦が手当てをすぐ受けられる。そういう地元の地域の人が即利用出来る事が大切だと思います。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 4月3日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

電話連絡の確保。かかりつけの医者に診察、投薬をして欲しい。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 4月3日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

- ・病院等は非常事態における対応は考えられているとは思いますが、そういう情報がわかりやすいようにしておいてほしい
- ・健康な赤ちゃんを出産する為にも妊産婦のための食料や水衣類等の確保とそれらをすばやく供給できるルートの確立(各家庭で出来ることはふだんからしっかり考え、準備しなければいけないと思います。)

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 4月3日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市垂水区

出産費用は現在30万支給されていますが、災害等で家が全壊、半壊したりでやむをえず避難した方には、出産費用の援助は必要だと思う。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 4月4日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

避難所などで集まる時なるべく同じ所に集まれる用にすれば心強いと思う。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 4月4日 妊娠週数: 36週 帝王切開
出産病医院の住所: 明石市

- ・病院に限らず、市民センターや、あちこちの施設などで、相談や診察窓口をたくさん設け、とにかく、近くで、まずは、不安をのぞいてもらうことができるようにしてはどうか。

被災時住所: 明石市 経産婦
出産日: 4月5日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 加古川市

災害後は診察日でなくてもとても不安なのでおなかのこにいじょうがないかしんさつしてほしいです。そのさいにやっぱりしんさつびでないといきにくいに様子を見てくれるなりなんらかのれんらくがほしいです。

被災時住所： 明石市 経産婦
出産日：4月5日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

普通のときでも不安なので電気（あかり）だけはついていてほしいと思う。あとなにかあったときのためには大きな病院との連絡、配送はてきかくにびんそくにできるように。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日：4月5日 妊娠週数：32週 帝王切開
出産病医院の住所：神戸市須磨区

できる限りの援助をお願いしたい。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日：4月6日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市西区

妊婦のみならず老人、病人、乳幼児、特別な配慮を要するもののみ避難所を確保してほしい。（医療施設併設の）

不安を感じることが多いので避難所で妊婦検診をしてちょっとした疑問や不安に答えて頂くことができればすごく安心できると思う。（今回に震災後にもおこなわれていましたが私は幸い当事者にはなりませんでしたがもし自分の身にふりかかっていたら検診していただくことで大きな安心感がえられたらと思います。）

被災時住所： 明石市 経産婦
出産日：4月6日 妊娠週数：42週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

普段とは別に診療してほしい。

被災時住所： 明石市 経産婦
出産日：4月6日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市西区

水道がストップしてしまったため4階の自宅まで水を運ばねばいけなくなったとき、妊産婦の自分はたちまち家族の足手まといになったように感じた。そのため、やはり無理をしがちであった。何か少しの異常でもみていただけるような医療の援助または心のケアが欲しいと思った。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日：4月6日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

妊産婦に関しては精神的なフォローを。新生児等あかちゃんが最低限のこを受けられるようにしてあげてほしい。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日：4月6日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：豊岡市

- ・地域の保健所、保健センターなどで、妊産婦に対する保健指導、検診etc
- ・この度の地震では、〇〇病院などの保健婦が、被災地へ行っており、相談できなかった。

被災時住所： 明石市 経産婦
出産日：4月6日 妊娠週数：40週 吸引分娩
出産病医院の住所：神戸市西区

雑誌で見たのですが、非常用の分勉セットというものがあるそうですが、非常時や急にお産が早くなった時、などハサミ、へその緒のバンドその他がセットされたものがある様です。そういうものを妊産産に少しでもわけてあげればちょっとは心強いのでは…。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日：4月7日 妊娠週数：36週 自然分娩
出産病医院の住所：神戸市須磨区

- ・ゆっくりやすめる場所の確保。
- ・精神的にまいってしまっているので心のケア。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日：4月8日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：姫路市

公的な場所での検診を実施してほしい。その際予定していた病院で産めなくなった人たちのために産婦人科を紹介してほしい。

被災時住所： 明石市 経産婦
出産日：4月8日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

この度の地震では水の確保が大変でした。大きなおなかでポリタンクをもって歩くのは毎日大変でした。近所の方もきがつけば手伝って下さったりしましたが配達してもらえたらと思いました。また、主人が交通が回復するまで単身赴任をしいられ不安でもあり不自由でもありました。経済的にも苦しかったです。会社にも少し考えてもらいたいです。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日：4月8日 妊娠週数：40週 吸引分娩
出産病医院の住所：明石市

自分自身でも気がつけない様な異常が起こっているかもしれないので、そのような事態の後には、念のため診察を受けられるようにしてほしい。今回の地震で早産しかけた為。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日：4月9日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

- 精神的ケアが不可欠（早流産がおこりやすい状態となるため）
↓
医師によるカウンセリング等事後の連絡処置など。
- 安心して子供を生める場所の提供 仮設や避難先では不安定。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日：4月9日 妊娠週数：40週 鉗子分娩
出産病医院の住所：神戸市北区

地震のショックで陣痛が始まったという人を身近で聞きました。非常事態だったので仕方ないかもしれませんが救急車も来てくれずとても困ったと聞きました。産婦人科にかぎりませんが、そういう時こそ受け入れ態せいをしっかりとしておいて頂きたいなあと感じました。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日：4月10日 妊娠週数：39週 帝王切開
出産病医院の住所：姫路市

妊婦検診を受けていた病院が被害にあった際、すぐに他の病院で受け入れられるよう優遇されたい。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日：4月10日 妊娠週数：41週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

- ・幼児のための粉ミルク、おむつ、などの確保。入浴、医療など衛生面でも、きちんとできるようにしてほしい。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日：4月11日 妊娠週数：39週 吸引分娩
出産病医院の住所：姫路市

非常事態に際し、安心でき、落ち着ける、相談窓口を設置して欲しい。

被災時住所： 明石市 経産婦
出産日：4月12日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

医師と一刻でもはやく連絡がとりたい。かけつけることのできる病院がどこかまでできるだけはやく知りたいと願うのでそのようなことが判る手段を考えてほしいです。

被災時住所： 明石市 経産婦
出産日：4月12日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

災害にあう時は妊産婦であっても普通の時でもみんなが協力しあってがんばっていきたいと思います。私はこの度には何にも災害にあっておりませんがボランティアの方達の行動には大変感謝することがいっぱいこれから今の中やさしさのもらった人間がたくさんいらっしゃることを期待しております。

被災時住所： 明石市 経産婦
出産日：4月12日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：明石市

私どもはこの地震のとき比較的軽い被害ですみかぞくも皆元気で生活をおくっております。以来病院の方へ検診に行きました折り、〇〇病院へかよっておられて地震後こちらの方へこられた方がいらっしゃいましたがその際2.3カ所も所をかえられたそうです 私もその方とおなじにんぶで自分ごとのように心配いたしました。1カ所の医療所で検診を受けていても他の場所ではなかなかうけられにくいんでしょうか。もちろん、その方も非常時ですので以前のカルテや紹介状等もなかったでしょう。この病院ではうけられましたが大変こまることは強く感じます。

被災時住所： 明石市 経産婦
出産日： 4月12日 妊娠週数： 36週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

やはり 安全で心配の少ないところへいち早く避難出来るような体制だとおのっけていたら安心だと思います。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日： 4月13日 妊娠週数： 39週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

- ・ テレビなどでみると床の生活でからだがかたくなるという点が妊娠中の自分と比較して非常に気になった。
- ・ 赤ちゃんのミルク（非常時に母乳がとまったというひともいたと思うので）も気になった。

被災時住所： 明石市 経産婦
出産日： 4月13日 妊娠週数： 38週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

- ・ 流産 早産などの原因にならないように施設や病院など確保（精神的安定が保てるように）
- ・ 妊娠時に必要な栄養の摂取ができるように。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日： 4月14日 妊娠週数： 40週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

検診、分娩、他の費用を援助してほしい。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日： 4月14日 妊娠週数： 38週 帝王切開
出産病医院の住所： 神戸市中央区

今回のように道路が不通になった場合、検診に行く妊婦にも特別車両のあつかいもして欲しい。

被災時住所： 明石市 初産婦
出産日： 4月14日 妊娠週数： 40週 自然分娩
出産病医院の住所： 赤穂市

赤ちゃん用救済物資（粉ミルク、オシメ、清浄綿、使いすてほ乳ビンetc）の備蓄を主な病院や保健所などに一元して用意すればよいのではないかと。乳児、幼児の数もほぼわかっていると思われるし配布の方法も考えてもらいたい。（遠くていけないことが多い。）普通に家庭で備蓄しているものが使えないことが多いので（使えない状況が考えられる）使いすて等簡便なものがよいと思う。私は震災後1人であることがこわくて（特に夜、停電の暗さがショックだった）近所の気どころ知れた方のところに主人が帰るまでお世話になりました。できればカウンセラーやセラピストの方などのいる場所でリラックスして他の人々たちと話をできる場があれば（逃げ場のような）と思いました。近くに知ったひとがいなければ出て話すこともないでしょうから。

被災時住所： 明石市 経産婦
出産日： 4月15日 妊娠週数： 39週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

地震の時精神的に不安だったので話を聞いてくれる人がほしかった。実家が近かったけど避難所に保健婦さんがいたのをました。血圧をはかるだけだったけどとても安心しました。病院に行くのは大変なので出張でみてもらえるといいと思う。

被災時住所： 明石市 経産婦
出産日： 4月15日 妊娠週数： 10週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

- ・ 今回の地震のあと 病院との連絡がつかず又、どうなっているか見にもいけず不安でした。
- ・ 病人、老人、妊婦のいるところには 保健婦さんに来てもらいたかったです。

被災時住所： 明石市 経産婦
出産日： 4月15日 妊娠週数： 40週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

電車が不通となったり、交通規制が布かれたりして、通院に支障をきたすと思われる。動き回ると危険なので 家にじっとしているだろうと思われます。今まで以上の電話での対応もお願いいたします。

被災時住所: 明石市 初産婦
出産日: 4月17日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市

ラジオ等で、どの医療機関(病院)へ行けば診察してもらえるかを知らせて欲しい。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 1月17日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

災害後の検診、水の確保、出産後に必要最小の用意の確保。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 1月17日 妊娠週数: 39週 吸引分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

優先的に水等の配給をお願いしたい。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 1月17日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 伊丹市

妊産婦だけに限らず食べ物、飲み物、寒さの対策、衛生面に気を付けてもらいたい。救急車の運ばれてくる途中で産気づいたときに救急車の中でも出産できたらいいのではないかな?

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 1月17日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

私は震災の2時間30分後に出産をしました。あの時、看護婦さん達はすぐ赤ちゃんのいる所へ走って行きました。「この子達を守らないと!」そう言いながら必死でした。私はあの時、処置室で看護婦さんという仕事の大変さ責任感に感動しました。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 1月17日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

私の赤ちゃんは地震当日に生まれたのでうぶ湯がつかえずウェットティッシュで血などをふいてもらいましたがそれだけでも私はうれしかったのですが、2日くらいたって少量の水が手に入ったとかでそれをわかしてもらい体をふいてもらって本当にうれしかったです。水、清浄綿、ウェットティッシュが本当に欲しかったです。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 1月19日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

今回の地震でもされていたように検診を受けていた病院以外でも緊急対応で診察してもらえたらいいと思う。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 1月19日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 伊丹市

非常時だとは思いますができるだけいつもと同じ態勢で治療にあたってほしい。出産直後も神経過敏になっているときに緊急だからといってぞんざいにされると不安も重なる。今回、予定より1日早く退院された。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 1月19日 妊娠週数: 37週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

赤ちゃん用品の援助

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 1月19日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

非常事態発生時は、どの様な方でも精神的動揺がかなりあると思います。まして、妊産婦は、もう1人もしくは、出産後になると、自分だけではないので、普通のひとよりかなり、精神的動揺・ショックが大きいと思うので、精神的に、落ち着けるよう、医療にたづさわっている方には、細心の注意は払って欲しいです。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 1月19日 妊娠週数: 39週 吸引分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

地震の時、まず、病院がどのような状態か心配した。そして、病院への交通が、渋滞して困った。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 1月19日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 伊丹市

やはり、水がないと不便なので、確保できていれば…と思います。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 1月20日 妊娠週数: 38週 帝王切開
出産病医院の住所: 尼崎市

まず第一に病院の被害状況が知りたかったです。私の自宅の被害が少なく幸い電気、ガス。水道共にその日のうちに使用できましたがおなじ市内の中で電気がこない、水がでない、なんてことは私たち市民にはわからなかったことで、うわさにより連絡し自ら確認しなければならぬ。でも電話はなかなか通じない。こんな不安はこれっきりにしたいと思います。こういうときの病院情報を希望します。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 1月20日 妊娠週数: 41週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

出産前は避難所等でも、何とか生活できますが、出産後が大変困りました。何とか自宅に帰っても雨もり屋根の修理等でゆっくりできず子どもをあちこち移動、産後しばらく安心していられるところがあれば非常にたすかると思います。退院後1週間位で母乳もでなくなりました。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 1月20日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

出産等緊急の場合の水の確保をお願いしたいと思います。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 1月21日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

今回の地震で予定日が近かったのもあり、電話がつながりにくかった事で不安になりました。非常事態の時には、いつでも病院と連絡がとれるようにできたらと思います。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 1月23日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 伊丹市

- ・病院独自の自家発電、水タンク食料の蓄財を高い視点より望む（今まで以上のきぼで）
- ・一般車道での緊急車両の優先道路確保（実際に避難車が道をふさぎ通行出来なかった救急車を何度も見た。反対車線も使えるようにできたらよいと思う。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 1月24日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

- ・分娩施設と助産婦さんの十分な確保。今回の地震があったときには初めての出産であるしすぐに陣痛がきたとき、ちゃんと産めるか、不安になったのでいかなる時も対応してもらえる施設などがあるということが明確になっていけばよいと思う。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 1月24日 妊娠週数: 39週 帝王切開
出産病医院の住所: 尼崎市

非常時に対してさんばさんの数を増やして欲しい。新生児衣料、おむつミルク等、どこかにストックしておいてもらえれば、役立つと思った。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 1月25日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

- ・乳児に必要な物資の援助
- ・ミルク、それに必要なお湯、離乳食（ベビーフード）紙おむつ、冬季なら防寒具

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 1月25日 妊娠週数: 41週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

とにかく病院に入院中に水がでなかったことが一番不自由だったと思います。出産後は体が不潔になりやすいのでそのことが気になりました。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 1月25日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

自分自身が被害者になった場合、精神的なダメージが多いと思います。医療は病院に行けば安心できますが、心のフォローをなんらかの形でして頂きたいなと思います。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 1月25日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

安心して出産が出来る設備があればよいと思う。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 1月26日 妊娠週数: 37週 帝王切開
出産病医院の住所: 尼崎市

地震のあった日は、一日中ふるえが止まらず、常にお腹ははった状態で眠ることができず次の日に病院に行くと足位(28週目から骨盤位ではあった)になった為、入院させてもらった。その病院へ行くにしても交通渋滞でタクシーもなかなかきてもらえずこまった。病院内では非常事態で先生や助産婦さんたちも大忙しで 自分達の家や通勤も大変なのに いつも笑顔で接してくれてとても心が安まりよく眠れました。節水の為、10日程シャワーもあびれず、食事も一時はパンだけのときもあり 母乳がでないところまっていた人もいました。でも私の入院していた病院はとてもよくしてくれて安心してすごせました。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 1月27日 妊娠週数: 28週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

もっと病院などの情報を流してほしい。どこの病院なら受け付けてくれるかなど。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 1月28日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

精神的に少しのことでも気にしやすくなると思うのでそんなとききちんと体の状態の話を聞いてもらい診察してくれると安心できるのではないかと思います。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 1月29日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

私の場合2人目の出産だったので、1度目の子供の時より楽にお産できました。でも1人目の時は、誰でもいい、側にいてほしいと思っていて、実際主人が立ち会ってくれました。不安でいっぱいのお産ですから、地震など急な時、妊婦本人だけを避難してもらおうのではなく、家族共に避難できれば出産時に安心でき、その後のかいふくも良いのではと思うのですが…

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 1月30日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

- ・ 子供を一時預ってくれる施設。
安心出来るスペース、いつでも診察してもらえる状況。
- ・ 水道、ガスが止まった場合、お風呂等。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 1月30日 妊娠週数: 39週 帝王切開
出産病医院の住所: 尼崎市

どんな事態になっても最後までめんどうをみてほしい。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 1月30日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

そんなに被害を受けていないのでピンとこない(水がどこからもらえるのか案内がなかったので少し困った)

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 1月31日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

大変不安でした。心のケアが一番大切だとは思いますがやはり安心して入院できる施設の確保だと思います。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 1月31日 妊娠週数: 40 週
出産病医院の住所: 尼崎市

今回の地震で出産日を間近にひかえていたのだから心配しましたが2回目の出産ということと予定していた産院に被害がなかったのが助かりましたが水のことで電気のことなど病院などは最優先でおねがいをしたいです。あと新生児のいる家庭に対するケアも大切だと思います。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 1月31日 妊娠週数: 40 週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

私自身たいした被害をうけなかったことで非常事態の対応について実感がわからないのですが一つ困ったことは食事でした。地震当初予定日近くだったのでスーパーに2時間並んでとてもつらい思いをしたことぐらいなのですが……

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月1日 妊娠週数: 38 週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

非常事態がおこると妊産婦に限らず精神的にも大きなショックを受けます。そういうときこそたとえ夜中であっても「すぐ診て欲しい」気持ちになるもので診ていただきたいと思います。(保健証がその場でなくても非常事態の際は対応してください)後、やはり医療機関は災害に強くもしもの時にはすばやい対処のできる場所であってほしいと思います。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月1日 妊娠週数: 41 週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

- ・ どういう事に注意したらよいかという指導。
- ・ あいている病院等の情報。
もし、避難所等に行かなければならない時、妊産婦ばかりのところを作ってほしい。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月1日 妊娠週数: 41 週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

今回の地震で、転院せざるを得なかった理由は、ガス、水道の供給ができなくなってしまった為です。お湯は電気などでわかせるますが、少ないのは一番困ります。資金はかかるでしょうが、島国なので、海水はたくさんあるので、海水を飲料水に変えるものなど、病院がもてれば、ましだったのでは、と思います。海水を変えただけではなく、浄化システムがあれば病院内の水はまかなえるのでは…自家発電のようなものです。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月2日 妊娠週数: 40 週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

日頃余裕のある体制で医療体制でおこなっていたき非常事態の折には被災者(他市からの移送された)そうでない患者に対応していただきたいものです。病院内が混乱し混雑していると患者は不安になります。今回の私のかかっていた産科の対応はすばらしいと感じておりますが。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月2日 妊娠週数: 42 週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

〇〇病院も水の被害にあいましたが、全く出ないということではないので、生れた子供に産湯に入れさせてやりたかった。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月3日 妊娠週数: 39 週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

病院へ通う為の交通期間が寸断され渋滞等通院が不可能または困難になるので地域の助産婦、看護婦さん等で通常の妊婦検診をしていただければ(大きな異常などはないけれど検診してもらはないと少し不安なとき)特に初産婦等不安も少なくなると思う。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月3日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市北区

私自身は幸いなことに親戚の家でお世話になったので実体験ではないのですが産後入院した時に流産で入院されている方が、断水のため給水所へいかなければならなくて、体の調子が悪くなって切迫流産したとおっしゃってました。(給水の問題) また、避難所ではだいたい近くの学校が指定されていると思うのですが、妊産婦の方が体育館で生活するのは大変だと思うので、やはり地域ごとに非常事態用の建物を学校とはべつに確保しておくべきだと思います。避難所で妊産婦さんが1人だと心細いこともあるが他の妊産婦さんもいっしょだと心強いし助けあうということもできると思います。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月3日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

たとえ自然災害が起こってもしっかりした母子の為の救急医療センターがあれば安心できると思います。私は地震の被害を受けませんでしたが悪の状態のなかで赤ちゃんを出産した人達を思うと県外の安全な病院への搬送システム(ヘリコプターなどで)があればいいとも思います。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月3日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

病院といつでも連絡をとれる様に対応してほしい。診察できない場合は、近くの病院を紹介してほしい。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月3日 妊娠週数: 41週 帝王切開
出産病医院の住所: 尼崎市

地震後、一番心配したのが、病院はつぶれてないかということです。まんいち、陣痛が来て、病院に行っても、入院できなかったらどうしようと、思いました。さいわい、新しい病院だったので、被害はなかったのですが、今回の様な非常事態の時は、すぐに、他の病院へ行ける様に、対処が必要だと思う。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月4日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

受け入れ体制がどのようになっているかの情報が少なかったと思うので生まれてくるこの為にもより多くの情報を流して自分がちゃんとお産するところがあるのかという心配をとりのぞいてほしい。(私は地震の日が検診日だったので病院の様子が少しわかったけど不安でした)

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月4日 妊娠週数: 38週 帝王切開
出産病医院の住所: 尼崎市

私は初産の時帝王切開で2人目も最初から帝王切開と決まっていました。2月4日の出産でまだ余震も続いていたので手術中に大きな地震がきたらどうなるのかなと終わるまで不安でした。希望としては非常事態の時の指導を前もって説明してほしいことと食べ物と水はかかせないので非常用にいつも用意してほしいです。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月4日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

やはり私はタンスがたおれたきて腰も少しうちましたし主人と子供2人がタンスのしたじきになり足でタンスをもちあげたりしてかなり無理をしました。電話もつながらないし救急車もたらず私は早産にならないことだけをねがっていました。ですから何とかいい方法を今のうちに(例えばけが人専用電話ナンバー、妊婦専用電話ナンバーとか)でも電話がつかないと無理ですね。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月4日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

妊産婦はちょっとした事でも精神的に動揺しやすいもの医師(病院)と妊婦(本人)との信頼関係が大切だと今回感じた。それがあれば、安心してお産にのぞめると思う。そのためには、日ごろの診察時になんでも聞きたい事を聞けたり、話しやすい雰囲気づくりが大事ではないでしょうか(今回、先生や看護婦さんが信頼できよいお産ができたと思う)

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月4日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

とにかく、精神的にも、肉体的にも不安定なので、いままでかかっていなくてもうけ入れてくれる病院が、どこにあるのかを、正確に、早急に、テレビや新聞などで、知らせてほしいと思いました。また、病院は、電気はあるとしても、ガス、水道に関しても、一般家庭とちがって、非常時にも、たくわえがあってほしいと思いました。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月5日 妊娠週数: 40週 吸引分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

かかっていた病院が診療できなくなった場合別の病院の紹介などがスムーズだと安心できる。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月5日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

肉体的にも疲労している上に精神的な疲労が重なり考えられない位のショックなどによって「不安」という一言なので、検診や母親学級などではげまして少しでも気の重さを取り除いて欲しいしそういう場をもっとつくってもらいたいです。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月5日 妊娠週数: 41週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

- ・清潔な場所と水の確保
- ・メンタルケアなど

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月6日 妊娠週数: 36週 吸引分娩
出産病医院の住所: 伊丹市

今回は地震で部分、部分道が破損したりして病院まで通えた道が通えないという事がありました。妊婦のときは特に何かあったときに大変です。そんなときにすぐに病院へいけるいい案があればと思います。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月6日 妊娠週数: 38週 帝王切開
出産病医院の住所: 伊丹市

ライフラインが寸断されてしまうと妊産婦の人は精神的に不安定になり、たいきょうにも良くないしお腹もはってきたりマイナーのことばかり、精神的なケアを相談できる場所があればよいと思う。妊婦検診もちゃんとうけられる病院を確保してほしいしさんげづいたり病気にかかったら優先的に援助できるよう手配して欲しい。私は10カ月のころ地震にあい、精神的にゆううつになり風邪をひいてしまい、声まで出なくなりそしてせきがひんぱんにでてそのたびに、失尿してしまい大変な思いをしました。予定より早く入院したいなといつも思いました。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月7日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

とりあえずゆっくり寝れる場所を確保してほしい。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月7日 妊娠週数: 35週 吸引分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

限度があるのはわかりますがもしものとき、大きな病院での受け入れが余裕をもってしてもらえるよう希望します。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月7日 妊娠週数: 37週 自然分娩
出産病医院の住所: 城崎郡

テレビで、まだ生後1~2カ月くらいの子(もっと小さい子?)を連れて避難所におられる方がいらしたようで、子供だけでなく親も大変だと思いました。1週間の入院後も、帰る場所がない方など、おちつくまで、もう、しばらく入院できるという設備がないのかなと思いました。せめて、親の体力が、すこしでも回復し、子供がすこしおちつく1カ月くらいまで。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月8日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

体を横に出きる場所が少ないと思いますし、洋式トイレは少なく妊産婦には辛いと思います。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月8日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市
病院が水の確保を充分にしてほしい。
(尿検査ができなかった為)

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月8日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市
・医療人員の確保。
・自家発電などの設備。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月9日 妊娠週数: 38週 帝王切開
出産病医院の住所: 尼崎市
・断水で水をくみにいったが妊婦のためすぐ疲れ外に出るのが怖かった。
・食料とかの買い出しも妊婦で小さな子供を連れて出ると又 いつくるかわからない地震で怖さで疲れてしまった。
・風呂やへ行ったが衛生上不安だったがいっつ入院するかわからないし。
・食事のかたより。パン、うどん、そば類はうっているが手の込んだ料理などは出来ない。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月9日 妊娠週数: 38週 吸引分娩
出産病医院の住所: 尼崎市
少々的是ずれですが、多少気分がすぐれない状態だったため、報道用ヘリの音が非常に気になりました。現在もヘリの音を聞くのが嫌です。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月9日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市
水・食品・赤ちゃんの安全の確保。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月9日 妊娠週数: 41週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市
一番に思うのは、早く平常心に戻る、戻してもらえるようになる事、私の場合は、入院予定に連絡しました所、“病院も少なからず被害はありましたが、いつでも引き受け体勢は整っている”と言われ、大変心丈夫となりました。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月10日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 西宮市
医療スタッフ、医薬品の確保

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月10日 妊娠週数: 41週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市
お腹の中が普通の状態なのか早く知りたいので、すぐエコーをしてほしかった。精神的ケアも必要だった。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月11日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市
診察時間外でも検診してもらえるようにする。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月11日 妊娠週数: 40週 吸引分娩
出産病医院の住所: 尼崎市
自宅が全壊となり、落ち着いて暮らす場所がなく、仮設住宅にも落選し、尼崎も神戸のように妊婦優先で仮設住宅へ入れて欲しかったです。赤ちゃんを迎える家がないとゆうのは、なんとも情けない気持ちでした。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月13日 妊娠週数: 40週 帝王切開
出産病医院の住所: 尼崎市
テレビの医療情報で“出産対応可”という内容がでていたのは良かったと思う。交通機関のマヒで生じたときの対応も情報として出して欲しい。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月13日 妊娠週数: 41週 吸引分娩
出産病医院の住所: 尼崎市
電話が繋がらない間、何かあった場合の交通手段や病院との連絡方法がほしい。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月13日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 伊丹市
災害後2-3日以内に検診していただけるようなシステムにしていきたいと思えます。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月13日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

お腹の赤ちゃんが異常がないかお母さん一人一人を確認できる様なシステムがあれば安心です。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月13日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

出産費や育児費などの貸付。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月13日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

不安を取りのぞけるように相談ができる所があれば。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月13日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

今回の地震で、神戸市では、仮設住宅の入居申込に優先順位をもうけられましたが、尼崎市では、妊産婦又は、乳幼児のいる家庭等について、優先は一切ありませんでした。今までの災害(台風・地震など)でとくに思うことは妊産婦に限らず、老人や子供(弱者)に対しての援助が必要不可欠だと思います。(質問の答えになっていないかと思えます。)

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月14日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

どこの病院でもすぐにうけいれてもらえるようにしてほしい。(今回はすぐに受け入れてもらったので助かりました)

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月14日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 伊丹市

・私が入院したとき地震により〇〇病院より転院した妊産婦がいてそのときの状況をきくことができました。大きい病院では他院への転送など病院間の連携が必要だと思った。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月14日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

一番困ったことは電話が1ヵ月近く使えなかったのでもし1人で家において出産が間近のとき病院、救急車誰にも連絡ができないことです。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月14日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

私の場合あまり痛みはなかったもののおなか張ってしょうがなかった。余震のたびに張り時々痛んだ。水が出ないため診察が出きないということだったのでこんな時だからしかたないと思いました。けど私自身ひどい恐怖心にもまわれ精神的にもビクビクしておりおなかの状態が心配でしたので早く診察して頂いて少しでも赤ちゃんが大丈夫ということを見てもらい不安感をとりぞいてもらいたかったです。17日病院に行ったときとにかく水が出れば水があれば…と帰りながら思っていました。ライフラインで確保できる水。水の確保。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月16日 妊娠週数: 38週 帝王切開
出産病医院の住所: 尼崎市

被害の大きさにかかわらず本人の性格なども加えて精神的フォローが第一だと思うので医師や看護婦保健婦の相談できる場所をつくること。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月16日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

私が入院したのは地震1月19日からでしたが医院は水、ガス、電気も通っていたので自宅にいるよりもずいぶんいい状態だったと思います。食事朝、昼、晩とる食きっちり食べれたのがすごくよかったです。やはり規則正しい生活を送れる状態が必要だと思いますが自宅にはなかなかあの非常時に規則正しい生活を送ることは出来ないと思います。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月16日 妊娠週数: 41週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

妊娠中は身体の変化も大きいけれど、目に見えない心の変化もあります。さ細な事で悩んだりするのでそんな気持ちを軽くするように(言葉がけなど)接してもらいたいのですが…

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月16日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

妊娠中の方が避難所に行って流産したり早産したということを新聞で見ました。寒い時期だったので冷えたらしいです。すごくかわいそうでした。妊婦にはもっと大切にしたいです。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月16日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

やはり、初めての赤ちゃんであっても、2人目・3人目であっても、1人のからだではないので、常に不安などがあると思うので、今回みたいな大きな地震だったらだれしもがこの先、どうなるのかと思い、自分自身もしっかりしなくてはと思うので、妊婦さんに限らず病気でいる方などに対して医療関係などは、適切な処置を早くしてほしいです。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月16日 妊娠週数: 37週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

非常事態にさいしてというわけではありませんが、出産費用があまりにも高額だと思います。妊娠・出産は確かに病気ではありませんが…

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月16日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

妊婦は、いくら病気じゃないといっても身体は、身軽じゃなく、動けません。ミルク、紙おむつなどいろいろ必要なものがたくさんあります。援助などでできるのならそれをあてにするしかありません。それと親切的な医療をおねがい。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月16日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 西宮市

- ・外的な症状がある場合はともかく、不眠になったり神経質になりがちな場合、とりあえず自分の体が異常でないことを含めて、現状を知る検診をしてもらえる施設がほしい。
- ・病院間の連絡
かかりつけの病院が機能しているかどうかの迅速な情報や、その病院が機能していない際の、ひき受け先の情報を妊婦に知らせてもらいたい。また、非常時にカルテ等のデータも送付したりして病院間が連絡をとってくれるのか、知りたい

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月16日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

私の場合、通院していた病院がそのままかわらず受診できたので時に思いつかないが、何かあった時、24時間受けつけて治療入院できる施設があれば安心と思います。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月17日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

特にないが、病院に行った時にやさしい言葉をかけてもらおうとおちつく。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月17日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

災害にあった妊産婦にとって一番の不安は清潔で安全な医療スペースの確保と心身共に相談のできる人材だと思うのでそれらの設置されている場所の数や情報の獲得の迅速さ。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月18日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

もし来院予定日に来なかったことがあったりした場合連絡するようなことをしてほしい。また、その妊産婦が安心できるような心のケアをしてほしい。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月18日 妊娠週数: 40週 吸引分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

出産をひかえていたらいつでも出産できる用にその病院にかよってなくても検診、出産などうけいれてほしい。そしてミルクを飲まないといけない子はお湯とミルクをたくさん用意しておむつもたくさん援助してほしい。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月19日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

急に産気づいた場合や体調が悪くなった場合、かかりつけの医院にかぎらず連絡できる場所を知っておきたい。電話が繋がらない場合でも近所に連絡できる場所が欲しい。今回の震災では水も出ず、特に予定日1ヵ月前ぐらいだったので医院に連絡もできず『産気づいたらどうしよう』という不安でいっぱいだったので。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月19日 妊娠週数: 40週 吸引分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

バランスのとれた食事。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月19日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 伊丹市

できるだけ早く、検診し相談できる場をつくってほしい。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月20日 妊娠週数: 38週 帝王切開
出産病医院の住所: 伊丹市

妊産婦、子供、老人を優先に援助や医療が行われることを望みます。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月20日 妊娠週数: 37週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

休養のとれる清潔な所に避難させてほしい。特に小さい子供をかかえての妊婦の場合特に他の大勢との暮らしは体力、精神的にも大変だと思う。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月21日 妊娠週数: 41週 自然分娩
出産病医院の住所: 伊丹市

医療や援助よりも何より不安感を取り除いてもらえるのが一番です。そして次にやはり経済的な援助がほしいですね。(幸いにもわが家は半壊の判定がでたものの以前とかわからないまま住んでおられるとはいえ家財の破損など出産費用にプラス出費がかかりましたから)

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 2月21日 妊娠週数: 39週 吸引分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

災害にあった時安心して生活できるような施設があれば良いと思います。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月21日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 西宮市

妊産婦は精神的に不安定なので今回の地震の為、病院はどうなったのか、その病院で出産できるのかといった情報をいち早くしらせてほしかったです。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月22日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

安心して出産ができるようにそしてその後1ヵ月は子供といっしょに今まで通りの生活ができれば言うことないかと思います。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月22日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 伊丹市

かかりつけの産婦人科医院で検診をうけざるおえなくなった時でも安心して検診できる様に母子手帳にカルテの写しを記入できるようにして欲しいです。そして、妊産婦を24時間いつでも異常がでたとき受けいれてくれる施設をもうけてほしいです。多ければ多いほど良いと思います。設備そして医師、看護婦も充実していること。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月22日 妊娠週数: 37週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

精神的に特に不安定な時なので、確実に診察してもらえる医療システムが必要だと思います。

被災時住所： 尼崎市 経産婦
出産日：2月23日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：川西市

- ・断水しマンションの5階に住んでいるので上の子（2才）もいて水を運ぶのが大変でした。（エレベーターが止まっていたから）水は必要なものなのでもう少し楽に手に入れば…と思います。
- ・病院の水道やガス、電気の様子がわからず心配だったのでわかるようにして欲しかった。（ガスは1ヵ月後位復旧にかかっていた）

被災時住所： 尼崎市 初産婦
出産日：2月23日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所：尼崎市

水が出ない時とても大変だったので、妊婦や乳児だけで入れるお風呂やシャワーがあればいいと思った。

被災時住所： 尼崎市 初産婦
出産日：2月24日 妊娠週数：30週 自然分娩
出産病医院の住所：尼崎市

非常事態後体の様子に変化する（おなかのはったり腰が痛くなったり等）ので医者に大丈夫と言ってもらっただけで安心できるが診てもらえる所がなく余計不安になった。

被災時住所： 尼崎市 経産婦
出産日：2月24日 妊娠週数：42週 自然分娩
出産病医院の住所：尼崎市

通信手段が断られるのは1番困ったことでしたのでまず電話。産み月だったにもかかわらずNTTの人は、皆様お困りなのは同じなのでと出産予定日の1週間後にTELがついたのです。家で1人である妊婦の不安を解ってもらえなかったのが悔しかった。

被災時住所： 尼崎市 経産婦
出産日：2月24日 妊娠週数：36週 吸引分娩
出産病医院の住所：尼崎市

すみやかに病院等にはこべるように交通スムーズにする

被災時住所： 尼崎市 経産婦
出産日：2月24日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：尼崎市

医療や援助ということでは無いかもしれないけれど、通っている病院がこわれていなくて診療が受けれるのか、受けられなければどこの病院に行けばいいのか早く情報が欲しい。

被災時住所： 尼崎市 初産婦
出産日：2月25日 妊娠週数：38週 自然分娩
出産病医院の住所：尼崎市

私自身は幸い被害の少ない所だったので特に希望もなかったのですが精神的ダメージがやはり大きいと思うのでそういうめんをすこしでもフォローしていただければよいのではないかと思います。

被災時住所： 尼崎市 初産婦
出産日：2月25日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所：尼崎市

- ・自宅のかたづけはかなりの重労働になりました。引っ越し、水くみ、かたづけのボランティアがあったらと思います。
- ・妊産婦はとてもデリケートになっています。こういう時は精神面のケアをしてくれる人が欲しい。
- ・地震後の病院はパニックになってとても検診どころではないだろうと思って行くのをしばらくひかえていました。病院の状況がどうなっているのか一般の人々に連絡する何らかの手段を考えてほしい
- ・安心できる住宅の確保を早くしてあげる
- ・妊娠も後期になると洋べんきでないとたちあがるのが辛いと思います（仮設トイレのことです）

被災時住所： 尼崎市 初産婦
出産日：2月25日 妊娠週数：39週 帝王切開
出産病医院の住所：尼崎市

- ・まず お腹の子供の安全を確認するため電話（手紙）などでも、近くの病院に、診療するように指示 もしくは、今までの病院に来よう指示する。又、その際の医療費は半額～無料にするべきだと思います。それぞれ都合があったと思いますので。
- ・あとは、妊婦専用の相談電話受付を開設するべき。病院に行きづらかったり聞きにくかったりいろいろ人と違った悩み等を持っているのでプロがカウンセリングする。等…

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月26日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 伊丹市

本人の体のことも家族（特に子供）のことも気にかかるので精神的に安定できる場所や身じかに不安をいえる人と連絡がとれるようにしてほしい。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月28日 妊娠週数: 41週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

私は大地震の時妊娠9ヵ月でしたがテレビなどでミルクがなくコーヒー牛乳をうすめて飲ましている放送を聞いてビックリしました。私も2人の男の子がいますが2人とも母乳がほとんどでなかったためミルクで育てましたので人ごとではないように不安になりました。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月28日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

おなかの子供に何か異常が起きなかったかが一番心配になるので、検診予定日に限らず、受診（毎回の超音波等）したい。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 2月28日 妊娠週数: 41週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

災害等での環境は、ある程度仕方のない事で我慢するしかないと思うのですが、食事やお水等は絶対必要だと思います。不安な状態になるので先生方も大変だとは思いますが、おなかの赤ちゃんの様子をできるだけくわしく教えていただけたらいいのではないのでしょうか。妊婦にとっては一番子供の事だけが気になりますから。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月1日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 伊丹市

尼崎にはケーブルテレビがあって地震ごすぐにはケーブルテレビがやくだってなかった。もっとジョウホウをながしてほしかった。ここにいけば妊産婦は大丈夫みたいな…

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月1日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

・病院までの交通機関の確保
このあたりは比較的被害が少なかったの
であまり不便さは感じませんでした。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月2日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市
水や電気などの最低限必要な物の確保。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月2日 妊娠週数: 41週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

いろいろな状況で通院していた病院まで行けなかったりしたときに困るので病院からの連絡があればいいと思います。病院側関係者の方は大変だと思いますが患者さんたちに電話をいれてもらい今の状態などの相談ができれば安心だと思います。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月2日 妊娠週数: 41週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

今回の地震でマンションのエレベーターが故障し10日以上修理に来なかった。妊婦にとっては階段の昇りおりがつかった。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月2日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

安全と思える住居の提供や、調子がすぐれない人には、万一のために短期入院させてくれること。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月2日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 伊丹市

出産予定日が、地震の日より1カ月以上も先だったので、たいした影響はありませんでした。近所の人達が心配してくれて、まとめて買い物してきてくれるなど援助もありとてもうれしかったです。医療に対して、特にありませんが、電気、ガス、水がなくても産めるように常設して欲しいです。関係ないかもしれませんが、健康保険や、生命保険、傷害保険などの制度が妊産婦に対しても使えるようになればいいのと思います。(地震によって、早産してしまった人、流産してしまった人、産まれたばかりの赤ちゃんが死んでしまった人などいると思うのです。)

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月3日 妊娠週数: 41週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

今回の地震後避難所で妊婦 新生児も一緒に生活していたが私は市の役人たちが考慮してどこか安心して身体が休まる場所へ特別に移っていると思っていた。新しい生命の誕生においてもっと大事にしてほしかった。又、精神的な援助として産婦人科医が出張して相談、検診を希望する。(第1子を出産する人は特に心配事が多いので)

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月3日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

妊産婦が何の心配もなく出産や医療がうけられる医療機関がたくさんあること。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月3日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

精神面のケアを充分はらっていただきたい。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月3日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

医療に関しては病院間の連絡を密にして今までの病院での治療がうけられなくなったときスムーズに転院できるように。また援助についてはミルク、衛生用品の確保、そして妊婦だけでなく新生児(又はそれに近い月齢の乳児)の安全が確保できるような対案を希望します。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月3日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

天災により検診していた病院から出産する病院を変らざるを得ない場合、即転院した病院へカルテをまわしてほしいです。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月3日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

今回の地震の際赤ちゃんのミルク、おむつなどが手に入りにくかったようで個人で用意しておくのも大切だけれどもとっさのときに持ち出せないこともあると思う。そんなとき、市の方や避難所に指定されているところに常時備えておいてもらえたら助かると思う。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月3日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

人工乳の赤ちゃんの為にまず水とミルク、紙おむつ、お湯を沸かす設備、冬であれば暖かい部屋など必要だと思います。でも大災害の時、もうパニック状態で普段からこういう場所へ行けば安心だという地域ごとの案内など、市役所から各家庭へ知らせてもらいたいと思います。まず電話が使えない状態だったので医院の方は大丈夫だったのかどうか行ってみないと大へん心配でした。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月3日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

妊婦は簡単に動くことが出来ないし、今回の様な神戸を中心とした大規模な震災ではどうしても人の助けを必要とします。やはり病人・妊婦はじん速に他県などに移送し経過をみるなどすべきでは(ヘリコプターなどそれくらいの費用は国がもつ、あたりまえのことです)

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月4日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

非常事態が起きた所では(たとえば今回の地震では神戸など)産婦人科さえ被がいにあわれている為、他県、他地域からの早急な対応が最も必要とされると思います。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月5日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

異常出産などにならないように医療機関がまず第一に救出を希望します。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月6日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

安心して出産できる最低限のもの(水、器具他)がすぐに確保できるようにお願いしたい。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月6日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

かかりつけの産院でなくても妊産婦が安心できる様に診察してくれる様お願いしたいです。最低限、食べる物赤ちゃん用品があればいいと思います。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月7日 妊娠週数: 37週 吸引分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

特にはわかりませんが被災された方の中には全てを失った人もいますので出来るだけ金銭面で困っている方には援助して診察や安心して出産、育児できるようにしてあげてほしいです。(粉ミルクや紙おむつ等取り寄せするなどしてほしい)

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月7日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

学校を避難所にするのじゃなくちゃんとした避難所専門も建物を町ごとにつくり紙おむつ、ミルク、水などを常備していればいいと思う。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月7日 妊娠週数: 37週 帝王切開
出産病医院の住所: 尼崎市

私の家は無事住むことができるけど、避難所などへいかなければならなかった人は、妊産婦を受けいれてくれる病院(病院同志の連絡を含めて)予定日が近かった近かった人には、特に病院の情報や新生児をかかえている人には、子供が使うものや、母親を手伝ってくれる(子供の世話など)が少しは必要なのかなと思った。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月7日 妊娠週数: 41週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

時間外診療を快く引き受けて欲しい。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月7日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

※色々なデマが流れ(大阪の病院へ行かされる。など)、私の場合、1人目の時からお世話になっている主治医だったので、直接、本当の事を聞く事ができ、不安もすぐ解消されましたが、聞けなかった人も多勢いたようですので、ハリがみでもいいですから、デマを打消すような事を書いた物を掲示して下さい、なあと思いました。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月8日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

妊婦に対しての病院に確保はされていたので安心でしたが乳児にたいしてミルク、哺乳便の消毒紙おむつなどが心配です。新聞でみた米国の使い捨てミルクがはいっているのがあるとかでこれからこうゆうのを使用できるという方向にもって行かれたらどうかと思います。

被災時住所： 尼崎市 初産婦
出産日：3月8日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所： 尼崎市

- ・避難所 水 食料の確保。
- ・清潔を保てる環境の確保。
- ・異常時の衣料機関の連帯。

被災時住所： 尼崎市 初産婦
出産日：3月8日 妊娠週数：40週 吸引分娩
出産病医院の住所： 神戸市中央区

医療関係だけのネットワークをつくり神戸がだめなら大阪からとか全国的なネットワークですぐにお医者様を派遣したり患者を運んだりしてほしい。運搬の方法としてもっとヘリコプターを使用するとか。

被災時住所： 尼崎市 初産婦
出産日：3月8日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所： 尼崎市

- ・診療時間外の診療も往信も通常料金で行って欲しい。
- ・住居に被害があった場合体調に変化はなくても入院できるようにしてほしい。

被災時住所： 尼崎市 初産婦
出産日：3月8日 妊娠週数：37週 自然分娩
出産病医院の住所： 尼崎市

万一、通院、入院中の病院が被害にあったとき、どこに連絡しどこに行けばよいのかを事前に周知しておく必要があるのではないか。又、最近の病院は設備器材が揃っており文明的といえるが災害がおきれば文明が無力になる。主治医および看護婦を始めとして関係者は昔の「産婆さん」のようなことができるようにしておく必要がある。

被災時住所： 尼崎市 初産婦
出産日：3月8日 妊娠週数：40週 自然分娩
出産病医院の住所： 明石市

地震前にかかっていた病院に通う事ができなくなった時、近くの病院で受け付けてもらえるのかどうかかわらず不安でした。夫が留守がちで出産間際なので、急にお産が始まったと思うと病院が決まるまで不安でどうしようもなかったです。こういう時、どこかで、きちんと診察してもらえるところを作ってほしい。（紹介してもらえるだけでも助かります。）

被災時住所： 尼崎市 経産婦
出産日：3月9日 妊娠週数：36週 自然分娩
出産病医院の住所： 西宮市

- ・迅速な対応。
- ・不安な気持ちにさせない。
- ・医療器械に頼らない診察を普段から身につける。

被災時住所： 尼崎市 初産婦
出産日：3月9日 妊娠週数：41週 自然分娩
出産病医院の住所： 尼崎市

心理面でのカウンセリングを行ってほしい。

被災時住所： 尼崎市 初産婦
出産日：3月10日 妊娠週数：38週 吸引分娩
出産病医院の住所： 尼崎市

臨時の診療所を少しでも多く増やしていくなど、妊産婦に安心感を与えることが先決だと思います。当たり前ですが乳児のための。ミルク、おむつ、水等分散して確保する事も大切です。

被災時住所： 尼崎市 初産婦
出産日：3月11日 妊娠週数：39週 自然分娩
出産病医院の住所： 尼崎市

[妊婦であれば] 精神的ケア・非常事態における諸注意を書面で配る・コールセンター e t c をもうける

[産後1ヵ月の場合] 悪露の手当てよう清浄ナプキン・粉ミルク・紙おむつ e t c 必要な物資をセット (ミネラルウォーター + あたためる道具)

* 妊婦専用のコールセンターの設置 そこに連絡をすれば必要な物資及び精神的ケアがうけられる

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月11日 妊娠週数: 41週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

妊婦にとって災害はとても大きな影響があると思います。けがをされたかたはもちろんです。精神的なショックも大きいと思います。中にはつわりでつらい思いをしたかたもいらっしゃると思います。大きいお腹では以前と比べてとても動きも鈍くなり大変です。被害が大きかった方につきましては援助の面でも出来る限りのことをしてあげていただきたいと思います。精神的ショックもあるので心暖まる診療を期待しています。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月11日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 伊丹市

出産に関しては、自費なので、出費が高額になることが多いので、もう少し、援助があればと思う。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月12日 妊娠週数: 37週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

具合が悪くても通院が不便だったり重病の人と比べてこれくらいならと思いがまんするところもあるので気軽にそうだんできるようにして欲しい。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月12日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

すぐに受け入れて預けられるようにしてもらいたい。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月13日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 姫路市

交通渋滞となったが病人(妊婦)や老人等は優先的に目的地にたどりつける様にできればと思った。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月14日 妊娠週数: 37週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

どんな場合でも妊婦や新生児だけは体育館や校舎などでなく一般家庭や特別な場所に移してあげてほしいです。国会議員やマスコミの人がこれるのであればその交通手段で無理をしてでも助けてあげて欲しい。被害が少なくても大変なのに妊婦の精神的ダメージや赤ちゃんがおふろにはいれないとかおむつがないとか信じられない情報ははいり悲しくなりました。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月14日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

私の所は被害も少なく(食器がほとんど割れましたが)けがもありませんでしたがショックと不安で精神的に落ちつきませんでした。メンタルな面でのケアがととても大切だと思いました。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月14日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

安心して居られる場所の提供を希望。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月14日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

- ・私の家では長い間水が出なかったため水くみを必要としたのですがおなかがおおきいと一度にたくさんの水を運べず大変不便でした。
- ・地震で通院中の病院が少しの間閉まってしまったので不安になり大阪の方の病院へ転院を問い合わせたところ今までの病院の紹介状をもってきてほしいと言われ通院中の産科は閉まっているのにと腹立たしく思いましたがすぐに産科が開いたので今までとかわらず通院できましたが、いつ開院するかわらないには不安でした。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月14日 妊娠週数: 40週 吸引分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

断水の時、毎日お風呂に入れるような施設があったらいいと思います。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月14日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市
早くみてほしいです。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月14日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 多紀郡

地震の時9カ月で安定期ではありませんでしたが、やはり精神的に不安定になり、よくおなかが張りました。もし、ここで破水でもしたらという不安や、行っていた病院はどうなっているのだろうか診察してもらえるのだろうかといろいろやはり考えます。「情報」というのはつくづく大切だと思います。(どこの病院が開いているか診察してもらえるかなど)、その情報を、妊産婦には特に流してほしいと思います。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月14日 妊娠週数: 38週 帝王切開
出産病医院の住所: 西宮市

- ・地震の翌日 出産した友人の食事があまりにも 質素だったのにはおどろきました。水も、ガスも無いので仕方がないと言えばそれまでですが、これから母乳を出さないといけないお母さんにカンパンだけだったので、びっくりしました。
- ・これも、ガスが無かったのですが地震後、検診にいくと暖房が無くて、内診台で、下着をぬがなくてはいけなかったのが 寒くてつらかった。
- ・水道が出なくなって、水をもらいに行かなくてはならなくて、大きいお腹では、重い物はあまり持てなかった。私の場合は幸い御近所の方に大分助けて頂きました。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月15日 妊娠週数: 32週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

病院間での非常時の連絡網を作ってほしいです。私の場合産み月ではなかったのですが自力で病院をみつけましたが予定日前後だったらとおもつとゾットします。他府県との非常時の紹介病院を作ってほしいです。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月15日 妊娠週数: 30週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市
電話での往診や保健所からの派遣が必要な人もいます。産婦人科の横の連携いプレーを期待します。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月15日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

病院はまず安全な場であってほしい。○
○先生や看護婦さんはみなとても元気で何もなかった様に皆の状態を調べてくれた。とにかく病院は妊婦が安心できる場所であってほしい。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月15日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

最低でも1カ月のミルク、食事、入浴等の出来る様な場所の確保。(産後の場合)

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月15日 妊娠週数: 40週 帝王切開
出産病医院の住所: 伊丹市

非常事態の後、すぐに医師に異常がないか診断してほしい。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月15日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

- ・非常事態による大きなショックで流産・早産等、お腹の赤ちゃんと母体に 受ける援助。
- ・清潔が一番なので、下着、お風呂等の援助。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月15日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

非常事態が起こった場合、すぐに検診(診察)又は場合によっては入院できる施設を優先的に与えてほしいと思う。家を失った妊産婦とその乳児に対してミルクや衣類をなるべく早くに確保できるようにしてほしい。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月16日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

市とか町で妊産婦の現状をはあくして万一のことをかんがえてできるだけ確保するとか安全な所に必ず誘導して欲しい。ふつうの人と比べて精神的にも肉体的にもびんかんになるのでどんなことがおこっても不思議ではないので、医療体制を万全にして欲しい。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月16日 妊娠週数: 38週 帝王切開
出産病医院の住所: 尼崎市

- ・安心してねられる場所（体育館など）、子供がなくても気を使わない場所（子づれ通し同じ部屋とか…）子供のおむつや服、ミルクなどを援助してほしい。
- ・せい神的なアドバイスをしてくれる人。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月16日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 明石市
体調を考慮した避難所。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月16日 妊娠週数: 41週 吸引分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

産婦人科医は、もちろんの事、精神的なケアもできる方とその施設の確保は、していてほしい。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月17日 妊娠週数: 40週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

設備がそろっていなくても子供は無事に生まれてくることをつくづく知りました。お腹の中にいる間は自分で守ってあげれるが生まれてきたらミルク、おむつ e t c 細かいものが自分では用意できなくなるかもしれないことが不安。

被災時住所: 尼崎市 経産婦
出産日: 3月17日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

災害時急に陣痛がきた場合に通院している病院と連絡がとれなかったり今回のような地震でもし病院が全壊していたらどうすればいいのかと不安になります。事前にマニュアルのようなものを作って下さい。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月17日 妊娠週数: 38週 自然分娩
出産病医院の住所: 神戸市中央区

- ・交通がしゃだんされて通院できないとき近くでうけいれてくれる病院をすぐに知りたい（通院しているところから紹介やニュースなどで）
- ・妊産婦、赤ちゃん、幼児のいる家族が主に避難できる避難所を地区に1つくらい決めてもらえかどうかと思う。普通の避難所では安静にできないし赤ちゃんが泣けば気がねだしミルクや食事すこし考慮してもらおうとたすかると思う。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月17日 妊娠週数: 38週 帝王切開
出産病医院の住所: 尼崎市
新生児の入浴と、妊産婦の入浴。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月18日 妊娠週数: 39週 吸引分娩
出産病医院の住所: 神戸市東灘区
道路が通行止めの場合でも妊産婦、新生児などは通行の許可をしてほしい。

被災時住所: 尼崎市 初産婦
出産日: 3月18日 妊娠週数: 39週 自然分娩
出産病医院の住所: 尼崎市

エコー等、しない健診日でも、してもらえば胎児の無事を確認できて精神的にホッとすると思います。